

令和 5 年11月24日

【照会先】

政策統括官付参事官付雇用・賃金福祉統計室

統計管理官 角井 伸一

室長 補佐 富永 哲史

雇用構造第二係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7613)

(直通電話) 03(3595)3145

令和 4 年派遣労働者実態調査の概況

目 次

| | |
|---|----|
| 調査の概要..... | 1 |
| 結果の概要..... | 4 |
| 〔事業所調査〕 | 4 |
| 1 派遣労働者の就業状況..... | 4 |
| 2 派遣労働者に対して行った教育訓練・能力開発の実施状況..... | 8 |
| 3 派遣労働者を正社員にする制度..... | 9 |
| 4 紹介予定派遣制度..... | 9 |
| 5 派遣労働者の不合理な待遇差解消のための取組状況..... | 10 |
| 6 個人単位の期間制限に達した派遣労働者の有無及び個人単位の期間制限についての意見 | 11 |
| 〔派遣労働者調査〕 | 13 |
| 1 派遣労働者の属性..... | 13 |
| 2 これまでの派遣就業の状況..... | 15 |
| 3 調査期日現在の派遣業務 | 16 |
| 4 派遣元・派遣先への要望 | 22 |
| 5 今後の働き方の希望 | 23 |
| 6 個人単位の期間制限到達の有無とその後の状況及び個人単位の期間制限についての意見 | 23 |
| 7 派遣労働者として働いている理由 | 24 |

令和 4 年派遣労働者実態調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/40-20.html>)

調査の概要

1 調査の目的

労働者派遣の実態等について、事業所側、派遣労働者側の双方から把握し、労働者派遣法改正前後の実態の変化も把握することで、労働者派遣制度に関する諸問題に的確に対応した施策の立案等に資することを目的とする。

2 調査の範囲及び対象

(1) 範囲

ア 地域

全国

イ 産業

日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改定）に基づく次の 16 大産業

「鉱業，採石業，砂利採取業」、「建設業」、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業，郵便業」、「卸売業，小売業」、「金融業，保険業」、「不動産業，物品賃貸業」、「学術研究，専門・技術サービス業」、「宿泊業，飲食サービス業」、「生活関連サービス業，娯楽業（その他の生活関連サービス業のうち家事サービス業を除く。）」、「教育，学習支援業」、「医療，福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業（他に分類されないもの）（外国公務を除く。）」

ウ 事業所及び労働者

上記に掲げる産業に属する 5 人以上の常用労働者を雇用する事業所及び当該事業所で就業している派遣労働者

(2) 調査客体

ア 事業所調査

上記の範囲に属する事業所から産業、事業所規模別に無作為に抽出した事業所

イ 派遣労働者調査

上記アの対象となる事業所に就業している派遣労働者

3 調査対象数、有効回答数及び有効回答率

(1) 事業所調査 調査対象数 17,462 事業所 有効回答数 8,686 事業所 有効回答率 49.7%

(2) 派遣労働者調査 調査対象数 10,978 人 有効回答数 7,119 人 有効回答率 64.8%

4 調査の対象期間及び実施期間

令和 4 年 10 月 1 日現在の状況について、事業所調査は令和 4 年 9 月 22 日から 10 月 17 日までの間に、派遣労働者調査は令和 4 年 10 月 13 日から 11 月 30 日までの間に調査を実施

5 調査事項

(1) 事業所調査

ア 事業所の属性

イ 派遣労働者を就業させる主な理由

ウ 派遣労働者を受け入れない場合の主な理由

エ 派遣労働者の業務

オ 派遣契約件数

カ 3 年前と比べた派遣労働者数の変化

キ 派遣先責任者の人数

ク 派遣労働者に講じている取組及び派遣労働者等の待遇

- ケ 派遣労働者の不合理な待遇差解消のための取組
- コ 過半数労働組合等の有無及び過半数代表者の選任状況
- サ 過去1年間の派遣可能期間の延長状況
- シ 派遣労働者の個人単位の期間制限（3年）について
- ス 過去1年間の労働者派遣契約の中途解除の状況
- セ 過去1年間の派遣労働者からの苦情について
- ソ 派遣労働者を直接雇用する登用制度について
- タ 紹介予定派遣について
- チ 請負労働者について
- ツ 今後の就業形態別労働者の構成比の方針

(2) 派遣労働者調査

- ア 個人の属性
- イ 派遣の種類、登録型派遣労働者の登録している派遣元事業所数
- ウ これまでの派遣就業に関する状況
- エ 現在の派遣就業に関する状況
- オ 派遣労働者として働いている理由、派遣労働者の個人単位の期間制限（3年）について
- カ 派遣元・派遣先への要望
- キ 派遣先の正社員等の募集情報の提供の有無及び応募の有無
- ク 紹介予定派遣について
- ケ 労働者派遣制度に関する情報の把握状況
- コ 今後の働き方の希望

6 調査の方法

(1) 事業所調査

事業所票を厚生労働省が業務を委託した民間事業者から調査客体事業所に郵送し、調査客体事業所が厚生労働省に郵送又はオンラインで回答。

(2) 派遣労働者調査

厚生労働省が業務を委託した民間事業者が、回収した事業所票から調査客体となる労働者数を算出し、事業所調査の客体事業所に調査客体となる労働者の抽出と派遣労働者票の配布を依頼。調査客体労働者が厚生労働省に郵送。

7 調査系統

- (1) 事業所調査 厚生労働省－民間事業者－報告者
- (2) 派遣労働者調査 厚生労働省－民間事業者－事業所調査対象事業所－報告者

8 利用上の注意

- (1) 統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の和が計の数値とは必ずしも一致しない。
- (2) 複数回答（回答項目の選択肢について、該当する答えを複数個選択することが可能としているもの）では、内訳の和が計の数値を超える場合がある。
- (3) 表章記号について
 - ①「0.0」は、該当数値はあるが、四捨五入の結果、表章単位に満たないものを示す。
 - ②「-」は該当数値がなく集計結果が0となる場合又は分母が0のため計算できない場合を示す。
 - ③「*」はサンプル数の少ないものであるので注意を要する。
 - ④「…」は調査をしていないことを示す。

9 主な用語の定義・解説

(1) 常用労働者

次のア、イのいずれかに該当する者をいう。

ア 期間を定めずに雇われている者

イ 1か月以上の期間を定めて雇われている者

(2) 派遣労働者

労働者派遣法に基づき派遣元事業所から派遣されている労働者をいう。

(3) 派遣の種類

ア 「登録型」とは、派遣元事業所が派遣労働を希望する労働者を登録しておき、派遣先事業所から求めがあった場合に、これに適合する労働者を派遣元事業所が雇い入れた上で派遣先事業所に派遣するものをいう。

イ 「登録型以外」とは、上記ア以外のものをいう。

(4) 紹介予定派遣

労働者派遣のうち、派遣元事業主が派遣労働者及び派遣先事業所に対して職業紹介を行うことを予定しているものをいう。

(5) OFF-JT (Off The Job Training)

通常の業務を一時的に離れて行う教育訓練を指す。

(6) OJT (On The Job Training)

日常の業務につきながら行う教育訓練を指す。

(7) eラーニング (electronic learning)

コンピューターネットワーク等を介して行われる教育や研修のことを指す。

(8) 正社員

常用労働者であって、当該事業所において正社員、正職員とされている者をいう。

結果の概要

〔事業所調査〕

1 派遣労働者の就業状況

(1) 就業の有無

令和4年10月1日現在の事業所について、派遣労働者が就業している割合は12.3%となっている。

これを産業別にみると、「製造業」が23.6%と最も高く、次いで「情報通信業」23.1%、「金融業、保険業」21.0%となっている。また、事業所規模別にみると、「1,000人以上」83.9%、「300～999人」66.8%、「100～299人」47.8%、「30～99人」26.9%、「5～29人」8.4%と規模が大きいほど派遣労働者が就業している事業所の割合が高くなっている。（表1）

表1 産業・事業所規模、派遣労働者の就業の有無別事業所割合

| 産業・事業所規模 | | 全事業所 | 派遣労働者の就業の有無 | |
|-------------------|--|-------|-------------|---------|
| | | | 就業している | 就業していない |
| 総数 | | 100.0 | 12.3 | 87.7 |
| 産業 | | | | |
| 鉱業，採石業，砂利採取業 | | 100.0 | 4.2 | 95.8 |
| 建設業 | | 100.0 | 10.6 | 89.4 |
| 製造業 | | 100.0 | 23.6 | 76.4 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | 100.0 | 18.5 | 81.5 |
| 情報通信業 | | 100.0 | 23.1 | 76.9 |
| 運輸業，郵便業 | | 100.0 | 13.9 | 86.1 |
| 卸売業，小売業 | | 100.0 | 10.7 | 89.3 |
| 卸売業 | | 100.0 | 19.7 | 80.3 |
| 小売業 | | 100.0 | 6.5 | 93.5 |
| 金融業，保険業 | | 100.0 | 21.0 | 79.0 |
| 不動産業，物品賃貸業 | | 100.0 | 9.5 | 90.5 |
| 学術研究，専門・技術サービス業 | | 100.0 | 19.4 | 80.6 |
| 宿泊業，飲食サービス業 | | 100.0 | 4.2 | 95.8 |
| 生活関連サービス業，娯楽業 | | 100.0 | 7.1 | 92.9 |
| 教育，学習支援業 | | 100.0 | 12.0 | 88.0 |
| 医療，福祉 | | 100.0 | 10.8 | 89.2 |
| 複合サービス事業 | | 100.0 | 10.1 | 89.9 |
| サービス業(他に分類されないもの) | | 100.0 | 14.9 | 85.1 |
| 事業所規模 | | | | |
| 1,000人以上 | | 100.0 | 83.9 | 16.1 |
| 300～999人 | | 100.0 | 66.8 | 33.2 |
| 100～299人 | | 100.0 | 47.8 | 52.2 |
| 30～99人 | | 100.0 | 26.9 | 73.1 |
| 5～29人 | | 100.0 | 8.4 | 91.6 |
| 平成29年調査計 | | 100.0 | 12.7 | 87.3 |

(2) 派遣労働者数階級別の割合及び派遣労働者数の産業別構成

派遣労働者が就業している事業所について、就業している派遣労働者数階級をみると、「1～4人」が68.1%と最も高くなっている。

令和4年10月1日現在の全労働者数に対する派遣労働者の割合は4.0%となっている。

産業別にみると、「サービス業（他に分類されないもの）」が11.5%と最も高く、次いで「情報通信業」9.5%、「製造業」7.8%となっている。一方「宿泊業，飲食サービス業」が0.6%と最も低く、次いで「鉱業，採石業，砂利採取業」0.7%、「複合サービス事業」1.1%となっている。（表2）

表2 産業・事業所規模、派遣労働者数階級別事業所割合

| 産業・事業所規模 | | 派遣労働者数階級 | | | | | | | | | | 全労働者数 に対する派遣労働者の 割合 2) |
|-------------------|---|----------|------|------------------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|------|---------------------------------|
| | | 1～4人 | | | 5～9人 | 10～19人 | 20～29人 | 30～49人 | 50～99人 | 100人以上 | | |
| | | 1人 | 2～4人 | 派遣労働者が就業している事業所計 1) | | | | | | | | |
| 総 | 数 | 100.0 | 68.1 | 42.3 | 25.8 | 16.8 | 7.3 | 2.9 | 1.8 | 1.3 | 1.7 | 4.0 |
| 産 | 業 | | | | | | | | | | | |
| 鉱業，採石業，砂利採取業 | | 100.0 | 81.6 | 51.0 | 30.8 | 5.8 | 12.4 | - | - | - | - | 0.7 |
| 建設業 | | 100.0 | 80.9 | 60.3 | 20.5 | 11.6 | 3.7 | 1.9 | 1.1 | 0.3 | 0.5 | 2.5 |
| 製造業 | | 100.0 | 51.6 | 26.3 | 25.3 | 19.0 | 14.0 | 5.5 | 3.7 | 3.6 | 2.8 | 7.8 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | 100.0 | 65.0 | 30.6 | 34.4 | 12.7 | 14.7 | 5.9 | 1.0 | 0.2 | 0.5 | 3.0 |
| 情報通信業 | | 100.0 | 44.0 | 27.4 | 16.7 | 23.3 | 11.9 | 5.7 | 5.5 | 4.6 | 5.0 | 9.5 |
| 運輸業，郵便業 | | 100.0 | 64.5 | 25.2 | 39.3 | 21.8 | 6.8 | 2.0 | 2.5 | 1.7 | 0.7 | 2.8 |
| 卸売業，小売業 | | 100.0 | 81.9 | 57.6 | 24.3 | 12.1 | 3.7 | 1.0 | 0.7 | 0.3 | 0.2 | 1.8 |
| 卸売業 | | 100.0 | 79.2 | 49.7 | 29.5 | 13.8 | 4.1 | 1.2 | 1.1 | 0.2 | 0.4 | 3.6 |
| 小売業 | | 100.0 | 85.7 | 68.6 | 17.1 | 9.9 | 3.2 | 0.6 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.8 |
| 金融業，保険業 | | 100.0 | 74.9 | 53.3 | 21.6 | 15.5 | 4.2 | 2.0 | 1.0 | 0.7 | 1.7 | 5.7 |
| 不動産業，物品賃貸業 | | 100.0 | 84.1 | 29.1 | 55.0 | 5.4 | 6.9 | 1.0 | 1.3 | 1.1 | 0.2 | 1.9 |
| 学術研究，専門・技術サービス業 | | 100.0 | 68.1 | 27.2 | 41.0 | 17.8 | 8.2 | 1.4 | 2.4 | 0.9 | 1.2 | 5.5 |
| 宿泊業，飲食サービス業 | | 100.0 | 66.9 | 58.2 | 8.7 | 30.6 | 1.0 | 0.5 | 0.9 | 0.1 | - | 0.6 |
| 生活関連サービス業，娯楽業 | | 100.0 | 54.4 | 21.8 | 32.6 | 18.9 | 0.8 | 25.6 | 0.1 | 0.2 | - | 2.5 |
| 教育，学習支援業 | | 100.0 | 76.1 | 41.4 | 34.7 | 16.5 | 4.1 | 2.0 | 0.7 | 0.4 | 0.2 | 1.4 |
| 医療，福祉 | | 100.0 | 66.6 | 42.1 | 24.4 | 21.9 | 8.4 | 0.9 | 1.6 | 0.5 | 0.1 | 1.7 |
| 複合サービス事業 | | 100.0 | 95.6 | 62.2 | 33.5 | 1.2 | 1.2 | 1.1 | - | 0.6 | 0.2 | 1.1 |
| サービス業（他に分類されないもの） | | 100.0 | 64.4 | 45.6 | 18.7 | 11.9 | 8.9 | 2.1 | 1.9 | 1.1 | 9.7 | 11.5 |
| 事業所規模 | | | | | | | | | | | | |
| 1,000人以上 | | 100.0 | 8.2 | 0.7 | 7.5 | 3.5 | 7.6 | 5.8 | 10.0 | 17.1 | 47.9 | 7.4 |
| 300～999人 | | 100.0 | 18.0 | 6.5 | 11.4 | 11.4 | 16.5 | 11.4 | 12.2 | 15.5 | 15.0 | 6.2 |
| 100～299人 | | 100.0 | 32.3 | 9.8 | 22.5 | 20.8 | 20.4 | 8.8 | 9.5 | 5.4 | 2.8 | 5.0 |
| 30～99人 | | 100.0 | 62.4 | 26.4 | 36.0 | 21.1 | 10.5 | 3.2 | 1.7 | 0.7 | 0.5 | 3.3 |
| 5～29人 | | 100.0 | 80.5 | 58.5 | 22.0 | 14.4 | 2.8 | 1.3 | - | - | 1.0 | 3.1 |
| 平成29年調査計 | | 100.0 | 73.4 | 42.5 | 30.9 | 12.6 | 7.2 | 2.6 | 2.0 | 1.3 | 0.8 | 3.2 |

注：1)「派遣労働者が就業している事業所計」には、派遣労働者数不明が含まれる。

2)「全労働者数に対する派遣労働者の割合」は、全事業所の受け入れている派遣労働者を含む全労働者数を100とした受け入れている派遣労働者数の割合である。

(3) 派遣労働者を就業させる理由

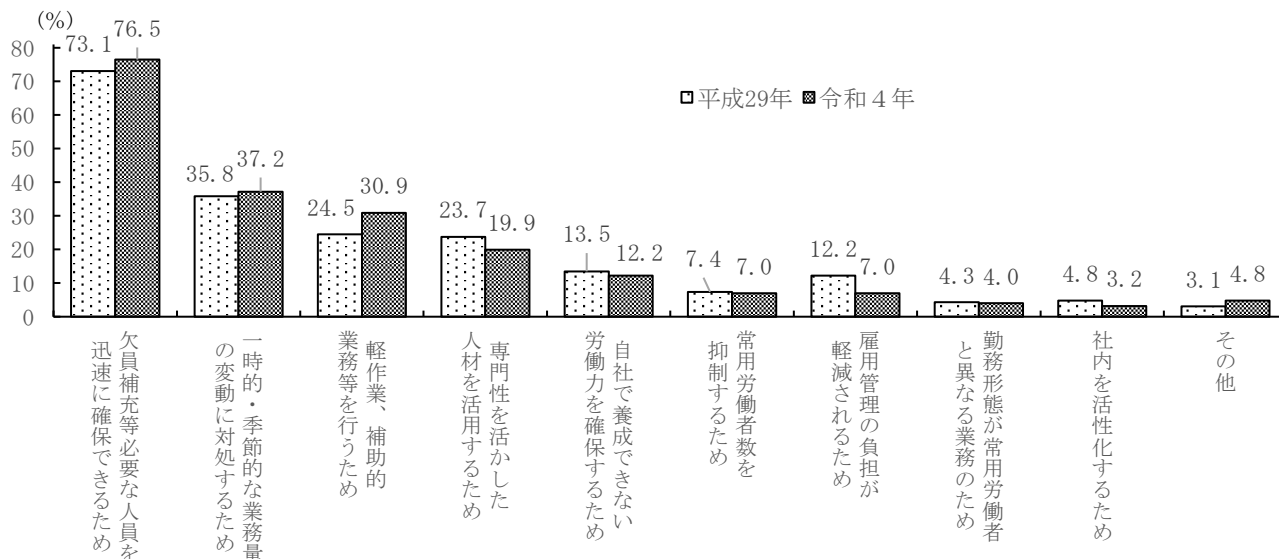
派遣労働者が就業している事業所について、派遣労働者を就業させる主な理由（複数回答3つまで）をみると、「欠員補充等必要な人員を迅速に確保できるため」が76.5%と最も高く、次いで「一時的・季節的な業務量の変動に対処するため」37.2%、「軽作業、補助的業務等を行うため」30.9%となっている（表3、図1）。

表3 産業・派遣労働者数階級、派遣労働者を就業させる理由別事業所割合

| 産業・派遣労働者数階級 | 派遣労働者を就業させる理由（複数回答3つまで） | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------|-----------------|------------|------------------|---------------------|-----------------|----------------------|------|
| | 派遣労働者が就業している事業所計1) | 一時的・季節的な業務量の変動に対処するため | 欠員補充等必要な人員を迅速に確保できるため | 常用労働者数を抑制するため | 雇用管理の負担が軽減されるため | 社内を活性化するため | 専門性を活かした人材活用するため | 自社で養成できない労働力を確保するため | 軽作業、補助的業務等を行うため | 勤務形態が常用労働者とは異なる業務のため | その他 |
| 総数 | 100.0 | 37.2 | 76.5 | 7.0 | 7.0 | 3.2 | 19.9 | 12.2 | 30.9 | 4.0 | 4.8 |
| 産業 | | | | | | | | | | | |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 100.0 | 37.1 | 47.4 | 4.5 | - | - | 32.6 | 8.7 | 16.1 | - | 4.5 |
| 建設業 | 100.0 | 52.1 | 74.9 | 7.6 | 7.7 | 1.2 | 23.9 | 8.3 | 47.0 | 6.8 | 0.5 |
| 製造業 | 100.0 | 54.0 | 84.8 | 8.8 | 8.4 | 2.5 | 9.6 | 7.5 | 34.4 | 1.7 | 4.4 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 100.0 | 50.6 | 60.4 | 14.2 | 1.0 | 1.6 | 16.4 | 9.9 | 50.7 | 2.3 | 4.9 |
| 情報通信業 | 100.0 | 47.0 | 57.8 | 5.9 | 3.6 | 0.1 | 66.8 | 27.0 | 35.7 | 0.7 | 1.3 |
| 運輸業、郵便業 | 100.0 | 45.9 | 71.5 | 5.5 | 9.9 | - | 5.7 | 8.6 | 49.5 | 7.1 | 0.4 |
| 卸売業、小売業 | 100.0 | 32.6 | 77.4 | 6.8 | 2.5 | 4.2 | 9.7 | 11.2 | 23.2 | 0.9 | 0.2 |
| 卸売業 | 100.0 | 27.3 | 84.3 | 9.4 | 2.2 | 7.2 | 11.4 | 15.2 | 24.4 | 0.5 | 0.2 |
| 小売業 | 100.0 | 39.9 | 67.8 | 3.4 | 2.9 | - | 7.4 | 5.6 | 21.5 | 1.5 | 0.2 |
| 金融業、保険業 | 100.0 | 24.5 | 76.8 | 3.8 | 6.5 | 6.2 | 21.0 | 20.4 | 51.0 | 3.9 | 5.9 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 100.0 | 47.4 | 79.7 | 28.8 | 1.6 | - | 8.5 | 2.1 | 48.5 | 0.3 | 0.3 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 100.0 | 40.6 | 61.8 | 8.1 | 5.4 | 1.7 | 24.8 | 10.7 | 52.6 | 4.8 | 7.0 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 100.0 | 21.6 | 75.9 | 3.9 | 0.7 | 23.9 | 30.7 | 3.9 | 1.5 | - | 23.6 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 100.0 | 44.5 | 59.4 | 0.5 | 0.2 | 0.2 | 22.9 | 13.3 | 20.6 | 12.0 | 25.7 |
| 教育、学習支援業 | 100.0 | 14.6 | 47.4 | 3.4 | 14.5 | 4.5 | 41.4 | 14.5 | 32.6 | 6.3 | 16.9 |
| 医療、福祉 | 100.0 | 21.6 | 91.0 | 3.7 | 4.9 | 0.4 | 26.0 | 22.2 | 15.6 | 6.4 | 3.5 |
| 複合サービス事業 | 100.0 | 50.0 | 93.2 | 14.8 | 15.7 | 0.1 | 0.9 | 0.8 | 11.5 | 0.4 | 0.1 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 100.0 | 30.2 | 73.5 | 10.6 | 21.7 | 1.9 | 31.6 | 12.5 | 28.2 | 9.7 | 4.5 |
| 派遣労働者数階級 | | | | | | | | | | | |
| 100人以上 | 100.0 | 42.6 | 71.5 | 24.9 | 24.4 | 1.1 | 57.2 | 27.3 | 17.7 | 2.2 | 0.7 |
| 30～99人 | 100.0 | 67.3 | 86.7 | 11.5 | 9.1 | 2.7 | 30.2 | 9.0 | 38.8 | 2.5 | 2.6 |
| 10～29人 | 100.0 | 50.2 | 81.2 | 8.6 | 9.7 | 3.0 | 28.3 | 17.5 | 30.5 | 5.3 | 7.7 |
| 5～9人 | 100.0 | 40.4 | 83.9 | 9.6 | 8.5 | 8.7 | 23.6 | 16.5 | 27.4 | 4.2 | 2.0 |
| 1～4人 | 100.0 | 33.0 | 73.6 | 5.5 | 5.7 | 1.9 | 16.4 | 10.1 | 31.8 | 3.8 | 5.2 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 35.8 | 73.1 | 7.4 | 12.2 | 4.8 | 23.7 | 13.5 | 24.5 | 4.3 | 3.1 |

注：1) 「派遣労働者が就業している事業所計」には、「派遣労働者を就業させる理由」不明が含まれる。

図1 派遣労働者を就業させる理由別事業所割合（複数回答3つまで）
（派遣労働者が就業している事業所計=100）



(4) 派遣労働者を受け入れない理由

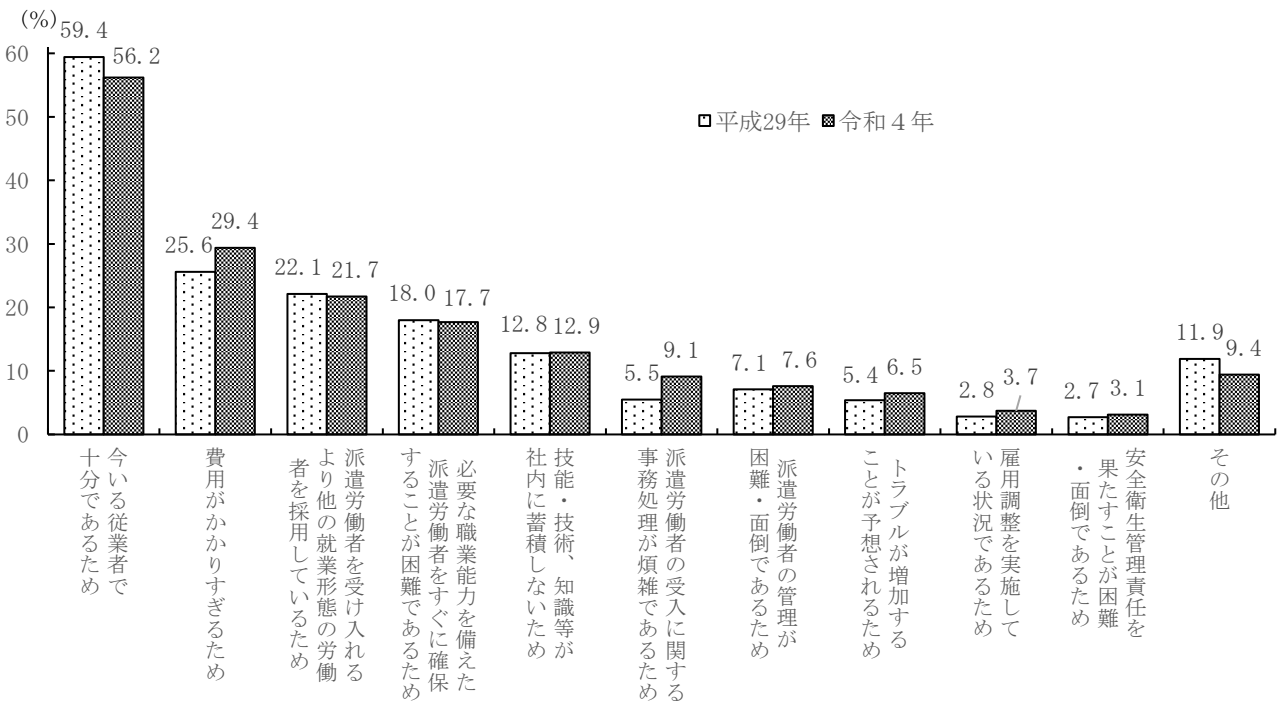
派遣労働者が就業していない事業所について、派遣労働者を受け入れない主な理由（複数回答3つまで）をみると、「今いる従業員で十分であるため」が56.2%と最も高く、次いで「費用がかかりすぎるため」29.4%、「派遣労働者を受け入れるより他の就業形態の労働者を採用しているため」21.7%となっている（表4、図2）。

表4 産業・事業所規模、派遣労働者を受け入れない理由別事業所割合

| 産業・事業所規模 | 派遣労働者が就業していない事業所計 ¹⁾ | 派遣労働者を受け入れない理由（複数回答3つまで） | | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|--------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------|---------------------------|---------------------|-------------|----------------------------------|----------------|--------------------|------|
| | | 派遣労働者の受入に関する事務処理が煩雑であるため | 必要な職業能力を備えた派遣労働者をすぐに確保することが困難であるため | 技能・技術、知識等が社内に蓄積しないため | 派遣労働者の管理が困難であるため | 安全衛生管理責任を果たすことが困難・面倒であるため | トラブルが増加することが予想されるため | 費用がかかりすぎるため | 派遣労働者を受け入れるより他の就業形態の労働者を採用しているため | 今いる従業員で十分であるため | 雇用調整を実施している状況であるため | その他 |
| 総数 | 100.0 | 9.1 | 17.7 | 12.9 | 7.6 | 3.1 | 6.5 | 29.4 | 21.7 | 56.2 | 3.7 | 9.4 |
| 産業 | | | | | | | | | | | | |
| 飲業、採石業、砂利採取業 | 100.0 | 3.7 | 22.7 | 16.4 | 6.1 | 10.9 | 5.9 | 13.9 | 17.7 | 60.9 | 3.3 | 6.7 |
| 建設業 | 100.0 | 10.0 | 28.0 | 17.3 | 13.6 | 8.6 | 7.2 | 22.9 | 24.4 | 48.2 | 4.4 | 8.7 |
| 製造業 | 100.0 | 8.9 | 23.9 | 22.0 | 10.1 | 2.7 | 7.7 | 32.4 | 21.0 | 52.9 | 4.9 | 6.1 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 100.0 | 4.8 | 14.9 | 10.4 | 2.4 | 2.8 | 1.6 | 4.8 | 30.4 | 47.2 | 2.2 | 21.6 |
| 情報通信業 | 100.0 | 7.9 | 18.6 | 16.4 | 8.8 | 0.4 | 3.7 | 15.3 | 21.1 | 70.4 | 2.2 | 5.7 |
| 運輸業、郵便業 | 100.0 | 3.2 | 27.5 | 10.5 | 5.7 | 4.2 | 9.2 | 26.6 | 19.2 | 55.0 | 2.1 | 12.0 |
| 卸売業、小売業 | 100.0 | 13.4 | 12.2 | 12.3 | 8.1 | 3.0 | 5.3 | 34.5 | 21.9 | 65.2 | 4.1 | 2.1 |
| 卸売業 | 100.0 | 7.4 | 10.1 | 20.6 | 7.3 | 2.8 | 2.1 | 23.9 | 12.9 | 73.8 | 1.8 | 1.1 |
| 小売業 | 100.0 | 15.7 | 13.1 | 9.0 | 8.3 | 3.0 | 6.6 | 38.6 | 25.5 | 61.8 | 5.0 | 2.5 |
| 金融業、保険業 | 100.0 | 4.2 | 15.3 | 7.8 | 3.3 | 0.9 | 1.7 | 12.6 | 24.5 | 49.0 | 2.5 | 19.1 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 100.0 | 5.3 | 12.5 | 10.7 | 4.5 | 2.1 | 9.2 | 28.7 | 24.3 | 72.1 | 3.0 | 1.6 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 100.0 | 7.5 | 28.3 | 19.9 | 6.2 | 1.9 | 9.4 | 21.9 | 20.9 | 55.8 | 1.8 | 11.0 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 100.0 | 9.8 | 8.4 | 8.5 | 8.1 | 3.2 | 8.4 | 33.1 | 21.3 | 52.7 | 5.4 | 10.0 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 100.0 | 7.9 | 29.7 | 16.2 | 9.6 | - | 1.7 | 34.8 | 16.1 | 56.5 | 3.2 | 12.6 |
| 教育、学習支援業 | 100.0 | 2.7 | 13.4 | 5.4 | 1.7 | 0.7 | 2.3 | 14.5 | 19.2 | 44.2 | 0.8 | 39.7 |
| 医療、福祉 | 100.0 | 9.0 | 19.9 | 12.7 | 5.5 | 3.2 | 9.7 | 33.8 | 22.7 | 50.7 | 3.0 | 9.1 |
| 複合サービス事業 | 100.0 | 2.4 | 13.4 | 4.6 | 2.7 | 0.6 | 1.4 | 13.2 | 20.4 | 50.4 | 11.0 | 32.2 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 100.0 | 5.2 | 16.5 | 10.7 | 6.2 | 2.5 | 3.7 | 22.1 | 22.8 | 60.4 | 1.8 | 12.9 |
| 事業所規模 | | | | | | | | | | | | |
| 1,000人以上 | 100.0 | 9.3 | 18.2 | 15.3 | 15.4 | - | 6.6 | 27.0 | 32.4 | 28.0 | 1.5 | 17.8 |
| 300～999人 | 100.0 | 7.8 | 11.3 | 13.3 | 6.9 | 2.3 | 3.2 | 30.4 | 35.3 | 41.2 | 4.5 | 16.8 |
| 100～299人 | 100.0 | 7.3 | 16.2 | 12.6 | 8.2 | 2.2 | 3.1 | 31.6 | 29.9 | 41.2 | 5.3 | 17.8 |
| 30～99人 | 100.0 | 8.1 | 16.0 | 12.3 | 7.5 | 3.4 | 4.3 | 31.7 | 23.8 | 47.2 | 3.2 | 16.9 |
| 5～29人 | 100.0 | 9.2 | 18.0 | 13.0 | 7.6 | 3.1 | 6.9 | 29.1 | 21.3 | 57.7 | 3.7 | 8.3 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 5.5 | 18.0 | 12.8 | 7.1 | 2.7 | 5.4 | 25.6 | 22.1 | 59.4 | 2.8 | 11.9 |

注：1) 「派遣労働者が就業していない事業所計」には、「派遣労働者を受け入れない理由」不明が含まれる。

図2 派遣労働者を受け入れない理由別事業所割合（複数回答3つまで）
（派遣労働者が就業していない事業所=100）



2 派遣労働者に対して行った教育訓練・能力開発の実施状況

派遣労働者が就業している事業所について、過去1年間（令和3年10月1日～令和4年9月30日、以下同じ。）に派遣労働者に対する教育訓練・能力開発の実施の有無をみると、「実施した」が69.7%となっている。

これを派遣労働者数階級別にみると、派遣労働者数階級が高くなるほど教育訓練・能力開発を実施している割合が高くなっている。

また、派遣労働者に対して教育訓練・能力開発を実施している事業所について教育訓練・能力開発の方法（複数回答）をみると、「働きながら行う教育訓練・能力開発（OJT）を行った」が85.1%と最も高くなっている。（表5）

表5 派遣労働者数階級、派遣労働者に対する教育訓練・能力開発の実施の有無、教育訓練・能力開発の方法別事業所割合

(単位：%)

| 派遣労働者数階級 | 派遣労働者が就業している事業所計 | 過去1年間の派遣労働者に対する教育訓練・能力開発の実施の有無 | | | | | | | | | |
|----------|------------------|--------------------------------|---------------------------|--|--|--|---------------------------------|---------------------------|--------|---------|-----|
| | | 実施した | 教育訓練・能力開発の方法（複数回答） | | | | | | | 実施しなかった | 不明 |
| | | | 働きながら行う教育訓練・能力開発（OJT）を行った | 自社内の講師により教育訓練・能力開発（OFF-JT）を行った（※を除く） 2) | 外部の講師を招いて教育訓練・能力開発（OFF-JT）を行った（※を除く） 3) | 事業所以外の教育訓練機関で教育訓練・能力開発（OFF-JT）を行った（※を除く） 3) | eラーニング（※）による教育訓練・能力開発を行った 2) | 派遣元が実施する教育訓練・能力開発への便宜を図った | | | |
| 総数 | 100.0 | 69.7 | (100.0) | (85.1) | (29.8) | (5.5) | (2.1) | (24.9) | (16.9) | 27.6 | 2.7 |
| 派遣労働者数階級 | | | | | | | | | | | |
| 100人以上 | 100.0 | 93.0 | (100.0) | (91.1) | (67.8) | (24.7) | (23.2) | (66.8) | (56.8) | 3.8 | 3.3 |
| 30～99人 | 100.0 | 90.6 | (100.0) | (84.1) | (40.8) | (7.7) | (3.0) | (38.4) | (22.9) | 9.2 | 0.2 |
| 10～29人 | 100.0 | 85.7 | (100.0) | (76.4) | (38.7) | (14.5) | (4.6) | (22.6) | (21.2) | 13.9 | 0.4 |
| 5～9人 | 100.0 | 77.2 | (100.0) | (84.0) | (40.5) | (6.1) | (1.2) | (28.0) | (27.1) | 18.2 | 4.6 |
| 1～4人 | 100.0 | 63.9 | (100.0) | (87.1) | (22.7) | (2.7) | (1.0) | (22.0) | (11.2) | 33.4 | 2.7 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 59.0 | (100.0) | (84.6) | (…) | (7.4) | (6.8) | (…) | (24.6) | 37.1 | 3.9 |

注:1) ()は、教育訓練・能力開発を実施した事業所を100とした割合である。

2)「自社内の講師により教育訓練・能力開発（OFF-JT）を行った」及び「eラーニングによる教育訓練・能力開発を行った」は、令和4年調査から新たに追加した。

3)「外部の講師を招いて教育訓練・能力開発（OFF-JT）を行った」及び「事業所以外の教育訓練機関で教育訓練・能力開発（OFF-JT）を行った」は、eラーニングによるものを除いているが、前回平成29年調査ではそれぞれeラーニングを含んでいるため、比較の際は注意を要する。

3 派遣労働者を正社員にする制度

事業所について、派遣労働者を正社員に採用する制度がある割合は 14.3%で、このうち過去1年間に「正社員に採用したことがある」は 1.6%となっている。採用する制度がない事業所は 84.4%で、このうち過去1年間に「正社員に採用したことがある」は 2.2%となっている。

これを派遣労働者が就業している事業所についてみると、派遣労働者を正社員に採用する制度がある事業所の割合は 23.9%、このうち過去1年間に「正社員に採用したことがある」は 3.8%となっている。（表6）

表6 派遣労働者の就業の有無・事業所規模、派遣労働者を正社員に採用する制度¹⁾の有無・採用の有無別事業所割合

| | | 派遣労働者を正社員に採用する制度の有無 | | | | | | (単位：%) | |
|-----------------------|-------|---------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------|---------------|--------|--|
| 派遣労働者の就業の有無 ・事業所規模 | 事業所計 | 正社員に採用する制度がある 2) | 過去1年間の採用の有無 | | 正社員に採用する制度がない 2) | 過去1年間の採用の有無 | | 不明 | |
| | | | 正社員に採用したことがある | 正社員に採用したことがない | | 正社員に採用したことがある | 正社員に採用したことがない | | |
| 総数 | 100.0 | 14.3 | 1.6 | 12.6 | 84.4 | 2.2 | 81.3 | 1.4 | |
| 派遣労働者の就業の有無 | | | | | | | | | |
| 派遣労働者が就業している | 100.0 | 23.9 | 3.8 | 20.1 | 74.0 | 7.5 | 66.1 | 2.1 | |
| 派遣労働者が就業していない | 100.0 | 12.9 | 1.3 | 11.6 | 85.8 | 1.5 | 83.4 | 1.3 | |
| 事業所規模 | | | | | | | | | |
| 1,000人以上 | 100.0 | 20.7 | 10.9 | 9.8 | 79.3 | 15.2 | 63.9 | - | |
| 300～999人 | 100.0 | 15.6 | 6.3 | 9.3 | 83.7 | 10.0 | 73.1 | 0.7 | |
| 100～299人 | 100.0 | 17.6 | 5.2 | 12.4 | 81.2 | 5.9 | 74.9 | 1.2 | |
| 30～99人 | 100.0 | 15.4 | 2.1 | 13.2 | 83.1 | 3.0 | 79.8 | 1.5 | |
| 5～29人 | 100.0 | 14.0 | 1.4 | 12.6 | 84.7 | 1.9 | 81.8 | 1.3 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 13.1 | 1.5 | 11.5 | 83.8 | 1.5 | 81.7 | 3.0 | |

注：1) 「正社員に採用する制度」は、就業規則等で制度として定められている場合に限る。制度として定められていなければ、仕事の実績等を勘案して正社員に採用する慣行がある場合でも、「制度がない」とした。

2) 「派遣労働者を正社員に採用する制度がある(ない)」には「過去1年間の採用の有無」不明が含まれる。

4 紹介予定派遣制度

事業所について、紹介予定派遣制度を利用したことがある割合は 7.1%となっている。

紹介予定派遣制度を利用したことがない事業所で「制度を知っている」は 37.1%、「制度を知らない」は 53.1%となっている。

これを派遣労働者が就業している事業所についてみると、紹介予定派遣制度を利用したことがある事業所の割合は 15.3%となっている。（表7）

表7 派遣労働者の就業の有無・事業所規模、紹介予定派遣制度の利用の有無別事業所割合

| | | 紹介予定派遣制度の利用の有無 | | | | (単位：%) | |
|-------------------|-------|----------------|-----------|---------|-----|--------|--|
| 派遣労働者の就業の有無・事業所規模 | 事業所計 | 利用したことがある | 利用したことがない | | 不明 | | |
| | | | 制度を知っている | 制度を知らない | | | |
| 総数 | 100.0 | 7.1 | 37.1 | 53.1 | 2.7 | | |
| 派遣労働者の就業の有無 | | | | | | | |
| 派遣労働者が就業している | 100.0 | 15.3 | 51.2 | 31.6 | 1.9 | | |
| 派遣労働者が就業していない | 100.0 | 6.0 | 35.1 | 56.1 | 2.8 | | |
| 事業所規模 | | | | | | | |
| 1,000人以上 | 100.0 | 31.0 | 58.3 | 10.7 | - | | |
| 300～999人 | 100.0 | 20.8 | 55.9 | 22.7 | 0.6 | | |
| 100～299人 | 100.0 | 15.2 | 51.5 | 32.0 | 1.3 | | |
| 30～99人 | 100.0 | 10.7 | 41.9 | 45.3 | 2.1 | | |
| 5～29人 | 100.0 | 6.2 | 35.7 | 55.2 | 2.9 | | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 6.8 | 32.7 | 57.8 | 2.6 | | |

5 派遣労働者の不合理な待遇差解消のための取組状況 【新規調査項目】

(1) 派遣労働者の待遇決定方式

派遣労働者が就業している事業所について、派遣労働者の待遇決定方式（複数回答）をみると、労使協定方式の対象となる派遣労働者を受け入れている事業所が 37.0%、派遣先均等・均衡方式の対象となる派遣労働者を受け入れている事業所が 29.4%となっている。

これを派遣労働者数階級別にみると、派遣労働者を多く受け入れている事業所ほど労使協定方式をとっている派遣労働者を受け入れている割合が高くなっている。（表 8）

表 8 派遣労働者階級、派遣労働者の待遇決定方式別事業所割合

| 派遣労働者階級 | 派遣労働者が就業している事業所計 1) | 派遣労働者の待遇決定方式（複数回答） (単位：%) | | |
|----------|------------------------|------------------------------|--------------|-------|
| | | 派遣先均等・均衡方式 2) | 労使協定方式 3) | わからない |
| | | | | |
| 総数 | 100.0 | 29.4 | 37.0 | 32.2 |
| 派遣労働者数階級 | | | | |
| 100人以上 | 100.0 | 30.8 | 69.6 | 2.7 |
| 30～99人 | 100.0 | 21.9 | 68.7 | 14.7 |
| 10～29人 | 100.0 | 23.5 | 59.1 | 22.5 |
| 5～9人 | 100.0 | 36.1 | 38.8 | 24.4 |
| 1～4人 | 100.0 | 29.0 | 31.0 | 37.1 |

注：1) 「派遣労働者が就業している事業所計」には、「派遣労働者の待遇決定方式」不明が含まれる。
2) 「派遣先均等・均衡方式」とは、派遣先の通常の労働者との均等・均衡待遇の確保のための措置をいう。
3) 「労使協定方式」とは、一定の要件を満たす労使協定による待遇の確保のための措置をいう。

(2) 派遣労働者の不合理な待遇格差の解消に必要な情報の提供

派遣労働者が就業している事業所について、派遣労働者の不合理な待遇格差の解消に向けた派遣先労働者の待遇情報及び派遣労働者の派遣先における職務の評価情報の提供について、派遣元事業所から情報の提供が求められ、実際に提供したことがある事業所を提供した情報の種類別にみると、「福利厚生施設（給食施設、休憩室、更衣室）」が 46.1%と最も高く、次いで「派遣先が行った派遣労働者の職務の評価情報（働きぶりや勤務態度）」が 32.2%、「業務に必要な能力を付与するための教育訓練」が 27.6%となっている（表 9）。

表 9 派遣先労働者の待遇情報及び派遣労働者の派遣先における職務の評価情報に関する派遣元事業所から提供の要望の有無、派遣元事業所への提供の有無別事業所割合

| 派遣先労働者の待遇情報及び派遣労働者の派遣先における職務の評価情報 | 派遣労働者が就業している事業所計 | 提供を求められたことがある | 提供の有無 | | 提供を求められなかった | 不明 |
|-----------------------------------|------------------|---------------|-------|---------|-------------|------|
| | | | 提供した | 提供しなかった | | |
| | | | | | | |
| 派遣労働者と同種の業務に従事する労働者の賃金水準 | 100.0 | 18.1 | 16.4 | 1.7 | 78.7 | 3.2 |
| 業務に必要な能力を付与するための教育訓練 | 100.0 | 27.8 | 27.6 | 0.2 | 69.1 | 3.1 |
| 福利厚生施設（給食施設、休憩室、更衣室） | 100.0 | 46.5 | 46.1 | 0.4 | 50.5 | 3.0 |
| 派遣先における派遣労働者の職務の評価情報 | | | | | | |
| 成果に関する評価結果 | 100.0 | 25.6 | 25.0 | 0.7 | 71.5 | 2.9 |
| 技能や能力向上に関する評価結果 | 100.0 | 27.2 | 25.9 | 1.3 | 69.8 | 2.9 |
| 働きぶりや勤務態度に関する評価結果 | 100.0 | 33.1 | 32.2 | 0.9 | 64.0 | 2.9 |
| 評価に関するその他の情報 | 100.0 | 23.6 | 22.6 | 1.0 | 73.5 | 2.9 |
| その他 | 100.0 | 4.0 | 3.9 | 0.2 | 72.9 | 23.0 |

(3) 派遣料金に関する要望の有無と対応

派遣労働者が就業している事業所について、派遣労働者の不合理な待遇差の解消のため、派遣元から派遣料金に関する要望の有無をみると、「要望があった」が38.0%、「要望がなかった」が60.0%となっている。

要望があった事業所のうち、求めに応じてとった対応（複数回答）をみると、「求めに応じて派遣料金を上げた」が91.4%と大多数の事業所が派遣料金を上げている。

これを派遣労働者数階級別にみると、求めに応じて派遣料金を上げた事業所の割合はいずれの規模においてもおおむね9割を超えている。（表10）

表10 派遣労働者数階級、派遣元事業所からの派遣料金に関する要望の有無及び対応別事業所割合

（単位：％）

| 派遣労働者数階級 | 派遣労働者が就業している事業所計 | 派遣料金に関する配慮の要望の有無 | | | | | |
|----------|------------------|------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|---------|-----|
| | | 要望があった | 求めに応じてとった対応（複数回答） | | | 要望がなかった | 不明 |
| | | | 求めに応じて派遣料金を上げた | 求められたが派遣料金を維持した | 求められたため派遣労働者の受け入れをやめた | | |
| 総数 | 100.0 | 38.0 (100.0) | (91.4) | (20.3) | (1.7) | 60.0 | 2.0 |
| 派遣労働者数階級 | | | | | | | |
| 100人以上 | 100.0 | 52.9 (100.0) | (98.3) | (27.5) | (1.1) | 43.8 | 3.3 |
| 30～99人 | 100.0 | 61.4 (100.0) | (94.7) | (29.7) | (0.9) | 38.0 | 0.7 |
| 10～29人 | 100.0 | 58.7 (100.0) | (95.6) | (27.8) | (7.0) | 41.1 | 0.2 |
| 5～9人 | 100.0 | 51.8 (100.0) | (90.5) | (25.4) | (1.8) | 47.7 | 0.5 |
| 1～4人 | 100.0 | 30.0 (100.0) | (89.9) | (14.7) | (0.3) | 67.3 | 2.7 |

注：（ ）は、要望があった事業所を100とした割合である。

6 個人単位の期間制限に達した派遣労働者の有無及び個人単位の期間制限についての意見

【新規調査項目】

(1) 個人単位の期間制限に達した派遣労働者の有無

派遣労働者が就業している事業所について、過去1年間に同一の組織単位での派遣就業期間が個人単位の期間制限（3年）に到達した派遣労働者がいた割合は24.6%となっている。

これを派遣労働者数階級別にみると、派遣労働者を多く受け入れている事業所ほど個人単位の期間制限に達した割合が高くなっている。（表11）

表11 派遣労働者階級、派遣就業期間が3年に到達した派遣労働者の有無別事業所割合

（単位：％）

| 派遣労働者階級 | 派遣労働者が就業している事業所計 | 派遣就業期間が3年に達した派遣労働者 | | |
|----------|------------------|--------------------|------|-----|
| | | いた | いない | 不明 |
| 総数 | 100.0 | 24.6 | 72.8 | 2.6 |
| 派遣労働者数階級 | | | | |
| 100人以上 | 100.0 | 75.7 | 21.0 | 3.3 |
| 30～99人 | 100.0 | 64.0 | 34.7 | 1.2 |
| 10～29人 | 100.0 | 48.9 | 50.7 | 0.4 |
| 5～9人 | 100.0 | 31.6 | 67.4 | 0.9 |
| 1～4人 | 100.0 | 16.1 | 80.5 | 3.4 |

(2) 個人単位の期間制限についての意見

派遣労働者が就業している事業所について、個人単位の期間制限への意見をみると、「今のままでよい」が29.0%と最も高く、「制限は不要」20.9%、「制限は必要だが、3年より延長すべき」17.2%となっている。

また、派遣労働者数階級別にみると、派遣労働者を多く受け入れている事業所ほど、「今のままでよい」の割合が高くなっている。（表12）

表12 派遣労働者数階級、派遣労働者の個人単位の期間制限に対する意見別事業所割合

(単位：%)

| 派遣労働者数階級 | 派遣労働者が就業している事業所計 | 派遣労働者の個人単位の期間制限についての意見 | | | | | |
|----------|------------------|------------------------|-------------------|---------|-------|-------|-----|
| | | 制限は必要だが、3年より短縮すべき | 制限は必要だが、3年より延長すべき | 今のままでよい | 制限は不要 | わからない | 不明 |
| 総数 | 100.0 | 2.1 | 17.2 | 29.0 | 20.9 | 25.6 | 5.2 |
| 派遣労働者数階級 | | | | | | | |
| 100人以上 | 100.0 | 0.3 | 9.0 | 39.7 | 17.4 | 30.3 | 3.3 |
| 30～99人 | 100.0 | 0.7 | 20.5 | 37.0 | 21.4 | 19.7 | 0.7 |
| 10～29人 | 100.0 | 2.2 | 23.5 | 30.0 | 21.7 | 21.2 | 1.4 |
| 5～9人 | 100.0 | 0.9 | 17.7 | 29.1 | 27.1 | 23.1 | 2.1 |
| 1～4人 | 100.0 | 2.5 | 16.2 | 28.2 | 19.3 | 27.0 | 6.8 |

【派遣労働者調査】

1 派遣労働者の属性

(1) 年齢

派遣労働者について年齢階級別にみると、「45～49歳」と「50～54歳」が15.8%と最も高く、次いで「35～39歳」14.0%となっている。

これを性別にみると、男は「35～39歳」が19.4%と最も高くなっている。女は「50～54歳」が20.3%と最も高くなっており、次いで「45～49歳」19.9%となっている。

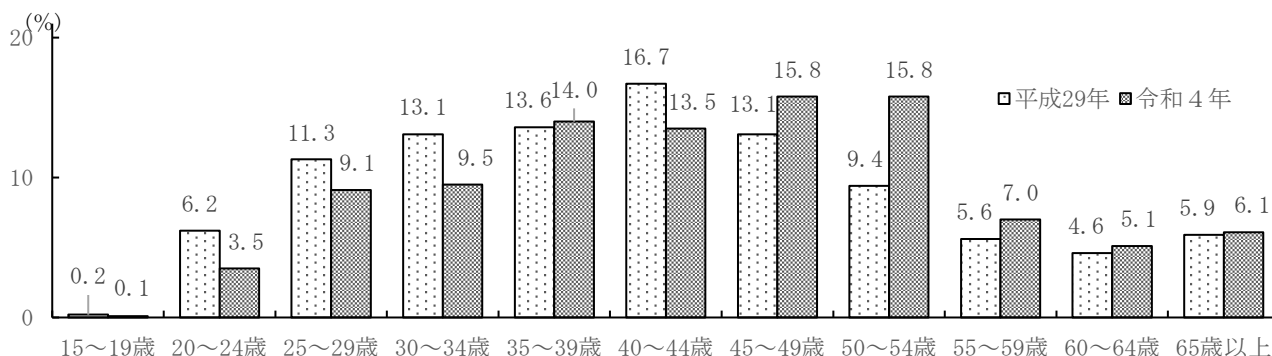
また、派遣労働者の平均年齢は44.3歳となっている。（表13、図3）

表13 性、年齢階級別派遣労働者割合

| 性 | 派遣労働者計 ¹⁾ | 年齢階級 | | | | | | | | | | | 平均年齢(歳) |
|----------|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---------|
| | | 15～19歳 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65歳以上 | |
| 総数 | 100.0 | 0.1 | 3.5 | 9.1 | 9.5 | 14.0 | 13.5 | 15.8 | 15.8 | 7.0 | 5.1 | 6.1 | 44.3 |
| 男 | 100.0 | 0.0 | 4.5 | 10.2 | 11.3 | 19.4 | 9.7 | 10.8 | 10.2 | 7.4 | 6.9 | 9.2 | 44.1 |
| 女 | 100.0 | 0.1 | 2.7 | 8.2 | 8.1 | 9.6 | 16.6 | 19.9 | 20.3 | 6.7 | 3.6 | 3.6 | 44.5 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 0.2 | 6.2 | 11.3 | 13.1 | 13.6 | 16.7 | 13.1 | 9.4 | 5.6 | 4.6 | 5.9 | 42.0 |

注：1) 「派遣労働者計」には、年齢階級不明が含まれる。

図3 年齢階級別派遣労働者割合
(派遣労働者計=100)



(2) 派遣労働者の収入源

派遣労働者について、生活をまかなう収入源をみると、「自分自身の収入」が最も高く69.1%、次いで「配偶者の収入」25.4%となっている。

これを性別にみると、男は「自分自身の収入」が94.5%と最も高く、女は「自分自身の収入」が48.7%、「配偶者の収入」が45.4%となっている。（表14）

表14 性・家族の状況、主な収入源別派遣労働者割合

| 性・家族の状況 | 派遣労働者計 | 収入源 | | | | | | | 不明 |
|------------------|--------------|---------|--------|--------|------|---------|-----|-----|----|
| | | 自分自身の収入 | 配偶者の収入 | 子どもの収入 | 親の収入 | 兄弟姉妹の収入 | その他 | | |
| 総数 ¹⁾ | 100.0 | 69.1 | 25.4 | 0.2 | 3.6 | 0.1 | 1.2 | 0.4 | |
| 男 | 100.0 | 94.5 | 0.7 | 0.0 | 3.6 | 0.0 | 0.7 | 0.4 | |
| 女 | 100.0 | 48.7 | 45.4 | 0.2 | 3.6 | 0.2 | 1.5 | 0.4 | |
| 家族の状況 | | | | | | | | | |
| 同居している | (75.6) 100.0 | 59.5 | 33.6 | 0.2 | 4.7 | 0.1 | 1.5 | 0.4 | |
| 同居していない | (24.2) 100.0 | 99.5 | 0.2 | - | 0.1 | - | 0.2 | 0.0 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 71.5 | 18.9 | 0.0 | 7.4 | 0.1 | 1.8 | 0.2 | |

注：1) 「総数」には「家族の状況」不明が含まれる。

2) () は「総数」を100とした家族の状況別の割合である。

(3) 最終学歴・在学の状況

在学していない派遣労働者について、最終学歴をみると「高校卒」が40.9%と最も高く、次いで「大学卒」26.8%となっている。

これを性別にみると、男は「大学卒」が38.9%と最も高く、次いで「高校卒」37.4%、女は「高校卒」が43.8%と最も高く、次いで「高専・短大卒」19.7%となっている。

また、在学中の派遣労働者割合は0.5%となっている。(表15)

表15 性、在学の有無・最終学歴別派遣労働者割合

| 性 | 派遣労働者計 | 最終学歴 | | | | | | | | 在学中 | 不明 |
|----------|--------|--------------|-------|------------------|--------|--------|--------|-------|-----|-----|----|
| | | 在学していない | | 最終学歴 | | | | | | | |
| | | 中学卒 | 高校卒 | 専修学校 (専門課程)修了 | 高専・短大卒 | 大学卒 | 大学院修了 | | | | |
| 総数 | 100.0 | 99.1 (100.0) | (4.1) | (40.9) | (14.9) | (11.9) | (26.8) | (1.3) | 0.5 | 0.3 | |
| 男 | 100.0 | 99.2 (100.0) | (5.1) | (37.4) | (13.8) | (2.4) | (38.9) | (2.4) | 0.5 | 0.3 | |
| 女 | 100.0 | 99.1 (100.0) | (3.3) | (43.8) | (15.8) | (19.7) | (17.0) | (0.5) | 0.6 | 0.4 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 99.6 (100.0) | (5.2) | (40.5) | (13.2) | (12.6) | (26.6) | (1.8) | 0.2 | 0.2 | |

注：中途退学の場合は、退学した学校ではなく、その前の学歴を最終学歴とした。

() は、「在学していない」派遣労働者を100とした割合である。

(4) 学校卒業後に初めて就いた仕事の就業形態

在学していない派遣労働者について、学校卒業後初めて就いた仕事の就業形態をみると、「正社員」が72.4%、「正社員以外」が25.8%となっている(表16)。

表16 性、学校卒業後初めて就いた仕事の就業形態別派遣労働者割合

| 性 | 在学していない派遣労働者計 | 正社員 | 正社員以外 | 派遣労働者 | | | | | | その他 | 不明 |
|----------|---------------|------|-------|--------|-----------|--------|-----------|-----------|---------|-----|----|
| | | | | 短時間労働者 | 雇用期間の定め無し | | 雇用期間の定め有り | | 有期契約労働者 | | |
| | | | | | 派遣労働者 | 短時間労働者 | 雇用期間の定め無し | 雇用期間の定め有り | | | |
| 総数 | 100.0 | 72.4 | 25.8 | 9.3 | 7.5 | 6.7 | 0.8 | 4.9 | 4.2 | 1.8 | |
| 男 | 100.0 | 75.7 | 22.2 | 10.3 | 4.0 | 3.2 | 0.7 | 3.2 | 4.8 | 2.1 | |
| 女 | 100.0 | 69.7 | 28.8 | 8.5 | 10.3 | 9.5 | 0.8 | 6.3 | 3.7 | 1.5 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 73.5 | 25.5 | 8.6 | 6.0 | 4.7 | 1.3 | 5.8 | 5.2 | 1.0 | |

(5) 派遣の種類と登録している派遣元事業所数

派遣労働者について、従事する派遣の種類をみると、「登録型」が48.6%、「登録型以外」が51.4%となっている。

これを性別にみると、男は「登録型」39.2%、「登録型以外」60.8%と「登録型以外」が高く、女は「登録型」56.3%、「登録型以外」43.7%と「登録型」が高くなっている。

「登録型」の派遣労働者が現在登録している派遣元事業所の数をみると、「1か所」が66.1%と最も高く、次いで「2か所」12.8%となっている。(表17)

表17 性、派遣の種類及び「登録型」派遣労働者が登録している派遣元事業所数別派遣労働者割合

| 性 | 派遣労働者計 | 登録型 | 現在登録している派遣元事業所の数 | | | | | | | | 登録型以外 |
|----------|--------|--------------|------------------|--------|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 1か所 | 2か所 | 3か所 | 4か所 | 5～6か所 | 7か所以上 | 不明 | | |
| | | | 総数 | 100.0 | 48.6 (100.0) | (66.1) | (12.8) | (9.4) | (4.0) | (3.1) | |
| 男 | 100.0 | 39.2 (100.0) | (76.7) | (11.4) | (4.1) | (2.4) | (0.8) | (3.8) | (0.8) | 60.8 | |
| 女 | 100.0 | 56.3 (100.0) | (60.1) | (13.6) | (12.4) | (4.8) | (4.5) | (3.4) | (1.1) | 43.7 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 53.8 (100.0) | (57.9) | (14.3) | (10.6) | (4.9) | (5.5) | (4.9) | (1.9) | 46.2 | |

注：() は、「登録型」の派遣労働者を100とした割合である。

2 これまでの派遣就業の状況

(1) 派遣の通算期間

派遣労働者について、これまで派遣労働者として働いてきた通算期間をみると、「10年以上」が28.2%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」19.6%、「3年以上5年未満」16.4%となっており、派遣労働者として働いてきた通算期間が3年以上の割合は6割以上を占めている（表18）。

表18 性・派遣の種類、派遣で働いてきた通算期間別派遣労働者割合

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣労働者として働いてきた通算期間 | | | | | | | 不明 |
|----------|--------|-------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------|-----|
| | | 6か月未満 | 6か月以上 1年未満 | 1年以上 2年未満 | 2年以上 3年未満 | 3年以上 5年未満 | 5年以上 10年未満 | 10年以上 | |
| 総数 | 100.0 | 5.4 | 10.4 | 12.5 | 7.0 | 16.4 | 19.6 | 28.2 | 0.5 |
| 男 | 100.0 | 5.2 | 17.6 | 9.1 | 7.5 | 16.6 | 23.1 | 20.4 | 0.6 |
| 女 | 100.0 | 5.6 | 4.7 | 15.2 | 6.5 | 16.3 | 16.8 | 34.5 | 0.4 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 4.9 | 7.0 | 12.6 | 8.1 | 21.4 | 23.4 | 22.5 | 0.1 |
| 登録型以外 | 100.0 | 5.9 | 13.6 | 12.3 | 5.9 | 11.7 | 16.0 | 33.6 | 0.9 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 8.2 | 8.9 | 15.1 | 12.1 | 16.3 | 19.0 | 19.3 | 1.1 |

(2) 派遣先の数

派遣労働者について、これまで働いてきた派遣先の数をみると、「1か所」の割合が最も高く45.2%、次いで「2か所」23.8%、「4～5か所」11.1%となっている（表19）。

表19 性、これまで働いてきた派遣先の数別派遣労働者割合

| 性 | 派遣労働者計 | これまで働いてきた派遣先の数 | | | | | | | 不明 |
|----------|--------|----------------|------|------|-------|-------|---------|--------|-----|
| | | 1か所 | 2か所 | 3か所 | 4～5か所 | 6～9か所 | 10～19か所 | 20か所以上 | |
| 総数 | 100.0 | 45.2 | 23.8 | 10.9 | 11.1 | 6.1 | 2.0 | 0.5 | 0.4 |
| 男 | 100.0 | 51.9 | 17.0 | 11.9 | 9.7 | 6.5 | 1.9 | 0.7 | 0.5 |
| 女 | 100.0 | 39.8 | 29.3 | 10.1 | 12.2 | 5.7 | 2.1 | 0.3 | 0.4 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 42.6 | 19.9 | 12.2 | 13.2 | 7.7 | 2.5 | 0.7 | 1.2 |

3 調査期日現在の派遣業務

(1) 派遣業務

派遣労働者について、現在行っている派遣業務（複数回答）をみると、「一般事務」が 35.2%と最も高く、次いで「物の製造」19.1%となっている。

これを性別にみると、男は「物の製造」が 27.5%、女は「一般事務」が 50.8%と最も高くなっている。（表 20、表 20-1）

表 20 性、現在行っている派遣業務別派遣労働者割合

| | | 複数回答（単位：％） | | | | | | | | |
|--|----------------------------|------------|-------|-------|----------|-----------------------|------|------|----------|------|
| | | 総数 | 男 | 女 | 平成29年調査計 | （続き） | | | | |
| 派遣労働者計 2) | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 総数 | 男 | 女 | 平成29年調査計 | |
| 政 令 で 定 め る 業 務 1) | (1号) ソフトウェア開発 | 5.9 | 11.4 | 1.5 | 6.5 | 放送機器等操作 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.4 |
| | (2号) 機械設計 | 3.4 | 6.7 | 0.8 | 3.7 | 放送番組等演出 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.5 |
| | (3号) 事務用機器操作 | 8.7 | 3.9 | 12.5 | 12.3 | 建築物清掃 | 0.7 | 1.2 | 0.3 | 0.6 |
| | (4号) 通訳、翻訳、速記 | 0.6 | 0.8 | 0.4 | 0.4 | 建築設備運転、点検、整備 | 1.2 | 2.3 | 0.2 | 0.9 |
| | (5号) 秘書 | 0.4 | 0.0 | 0.7 | 0.5 | 駐車場管理等 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| | (6号) ファイリング | 5.5 | 1.0 | 9.0 | 3.6 | インテリアコーディネータ | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | (7号) 調査 | 0.9 | 1.2 | 0.7 | 0.3 | アナウンサー | - | - | - | 0.0 |
| | (8号) 財務処理 | 1.7 | 0.3 | 2.9 | 1.7 | テレマーケティング | 1.2 | 1.2 | 1.1 | 0.7 |
| | (9号) 取引文書作成 | 0.9 | 0.1 | 1.6 | 0.4 | 放送番組等における大道具・小道具 | - | - | - | 0.0 |
| | (10号) デモンストラーション | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 水道施設等の設備運転等 | 0.5 | 0.9 | 0.2 | 0.4 |
| | (11号) 添乗 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 営業(18号及びテレマーケティングを除く) | 0.5 | 0.8 | 0.2 | 0.8 |
| | (12号) 受付・案内 | 3.5 | 1.4 | 5.2 | 3.6 | 販売 | 1.0 | 0.7 | 1.3 | 4.3 |
| | (13号) 研究開発 | 2.1 | 3.7 | 0.8 | 3.5 | 一般事務 | 35.2 | 15.9 | 50.8 | 23.5 |
| | (14号) 事業の実施体制の企画、立案 | 0.4 | 0.8 | 0.1 | 0.1 | 介護 | 1.9 | 0.6 | 2.8 | 0.9 |
| | (15号) 書籍等の制作・編集 | 0.4 | 0.2 | 0.6 | 0.3 | 医療関連業務（19号を除く） | 0.8 | 0.2 | 1.2 | 1.9 |
| | (16号) 広告デザイン | 0.4 | 0.1 | 0.6 | 0.3 | 物の製造 | 19.1 | 27.5 | 12.3 | 21.1 |
| | (17号) O A インストラクション | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.2 | 倉庫・搬送関連業務 | 9.2 | 14.0 | 5.4 | 7.6 |
| | (18号) セールスエンジニアの営業、金融商品の営業 | 0.3 | 0.6 | 0.1 | 0.5 | イベント・キャンペーン関連業務 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| | (19号) 社会福祉施設等における看護業務 3) | 0.3 | 0.0 | 0.5 | ... | その他 | 14.6 | 16.0 | 13.6 | 6.6 |

注：1) 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律施行令第4条で定められている日雇労働者についての労働者派遣禁止の制限を受けない業務をいう。
2) 「派遣労働者計」には就業している業務不明が含まれる。
3) 前回調査（平成29年調査）は「(19号) 社会福祉施設等における看護業務」を調査していない。

表 20-1 性、現在行っている派遣業務別派遣労働者割合（上位 10 業務）

| | | 複数回答（単位：％） | | | |
|----|---------------|------------|------|------------------|---------------|
| 総数 | | 平成29年調査 | | 男 | 女 |
| 1 | 一般事務 35.2 | 一般事務 | 23.5 | 物の製造 27.5 | 一般事務 50.8 |
| 2 | 物の製造 19.1 | 物の製造 | 21.1 | その他 16.0 | その他 13.6 |
| 3 | その他 14.6 | 事務用機器操作 | 12.3 | 一般事務 15.9 | 事務用機器操作 12.5 |
| 4 | 倉庫・搬送関連業務 9.2 | 倉庫・搬送関連業務 | 7.6 | 倉庫・搬送関連業務 14.0 | 物の製造 12.3 |
| 5 | 事務用機器操作 8.7 | その他 | 6.6 | ソフトウェア開発 11.4 | ファイリング 9.0 |
| 6 | ソフトウェア開発 5.9 | ソフトウェア開発 | 6.5 | 機械設計 6.7 | 倉庫・搬送関連業務 5.4 |
| 7 | ファイリング 5.5 | 販売 | 4.3 | 事務用機器操作 3.9 | 受付・案内 5.2 |
| 8 | 受付・案内 3.5 | 機械設計 | 3.7 | 研究開発 3.7 | 財務処理 2.9 |
| 9 | 機械設計 3.4 | ファイリング | 3.6 | 建築設備運転、点検、整備 2.3 | 介護 2.8 |
| 10 | 研究開発 2.1 | 受付・案内 | 3.6 | 受付・案内 1.4 | 取引文書作成 1.6 |

(2) 技術・技能の習得方法

派遣労働者について、現在派遣先で就業している業務の技術・技能を習得した主な方法（複数回答3つまで）をみると、「派遣先で就業中の技能蓄積」が48.4%と最も高く、次いで「派遣先の教育訓練」31.9%、「派遣元の教育訓練」25.9%となっている。

これを派遣の種類別にみると、いずれも割合が高い順に「派遣先で就業中の技能蓄積」「派遣先の教育訓練」となっているが、それらに次いで登録型は「独学（通信教育を含む）」、登録型以外は「派遣元の教育訓練」となっている。（表21）

表21 性・在学の有無・最終学歴・派遣の種類、技術・技能を習得した主な方法別派遣労働者割合

| 性・在学の有無・最終学歴 ・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 技術・技能を習得した主な方法（複数回答3つまで） | | | | | | | | | 不明 |
|------------------------|--------|--------------------------|-----------------------|---------------------|--------------|--------------|----------------------|------------------------------|-------------------------------------|------|------|
| | | 通学制の 学校・専門 学校 | 公的機関 が実施する 職業訓練 | 独学（通 信教育を 含む） | 派遣元の 教育訓練 | 派遣先の 教育訓練 | 派遣先で 就業中の 技能蓄積 | 派遣関係 以外の勤 務先での 教育訓練 | 派遣関係 以外の勤 務先で就 業中の技 能蓄積 | その他 | |
| 総数 1) | 100.0 | 9.3 | 3.1 | 13.8 | 25.9 | 31.9 | 48.4 | 5.5 | 12.9 | 14.0 | 9.8 |
| 男 | 100.0 | 8.9 | 3.0 | 14.1 | 30.8 | 41.9 | 49.6 | 6.2 | 12.2 | 8.7 | 7.9 |
| 女 | 100.0 | 9.6 | 3.1 | 13.5 | 21.9 | 23.9 | 47.5 | 5.0 | 13.5 | 18.3 | 11.4 |
| 在学の有無・最終学歴 | | | | | | | | | | | |
| 在学していない | 100.0 | 9.3 | 3.1 | 13.8 | 25.9 | 32.0 | 48.5 | 5.5 | 13.0 | 14.0 | 9.6 |
| 中学卒 | 100.0 | 3.2 | 4.2 | 5.4 | 10.8 | 23.2 | 44.8 | 2.3 | 18.5 | 23.8 | 10.5 |
| 高等学校卒 | 100.0 | 2.9 | 3.4 | 9.7 | 23.2 | 35.0 | 40.7 | 5.6 | 9.9 | 16.3 | 13.7 |
| 専修学校（専門課程）修了 | 100.0 | 19.9 | 1.9 | 13.9 | 12.8 | 23.9 | 62.2 | 6.7 | 13.4 | 8.7 | 6.3 |
| 高専・短大卒 | 100.0 | 18.6 | 4.0 | 12.4 | 33.3 | 16.2 | 54.8 | 5.2 | 12.3 | 32.1 | 9.2 |
| 大学卒 | 100.0 | 9.4 | 2.7 | 21.0 | 36.5 | 40.0 | 50.2 | 5.5 | 16.8 | 4.3 | 5.2 |
| 大学院修了 | 100.0 | 22.2 | 3.6 | 35.2 | 26.8 | 33.2 | 57.1 | 3.8 | 16.3 | 5.8 | 11.6 |
| 在学中 | 100.0 | 1.6 | 0.1 | 8.0 | 15.8 | 21.0 | 27.7 | 4.7 | 1.6 | 16.7 | 49.9 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 11.7 | 3.8 | 16.4 | 12.9 | 24.8 | 46.3 | 6.8 | 15.8 | 10.7 | 14.1 |
| 登録型以外 | 100.0 | 6.9 | 2.3 | 11.3 | 38.2 | 38.6 | 50.4 | 4.3 | 10.1 | 17.1 | 5.8 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 11.2 | 5.3 | 17.2 | 15.8 | 24.7 | 50.2 | 6.8 | 17.6 | 8.9 | 11.1 |

注：1) 「総数」には、在学の有無・最終学歴不明が含まれる。

(3) 派遣元との労働契約の期間

派遣労働者について、現在の派遣元との労働契約の期間をみると、「期間の定めはない」が38.4%と最も高く、次いで「2か月を超え3か月以下」17.6%となっている。

これを派遣の種類別にみると、登録型は「2か月を超え3か月以下」が21.7%と最も高く、登録型以外は「期間の定めはない」56.4%が最も高くなっている。（表22）

表22 性・派遣の種類、派遣元との労働契約の期間別派遣労働者割合

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣元との労働契約の期間 | | | | | | | | | | 不明 |
|----------|--------|--------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|--------|----------|-----|
| | | 1日以内 | 2日以上1週間以下 | 1週間を超え30日以下 | 30日を超え2か月以下 | 2か月を超え3か月以下 | 3か月を超え6か月以下 | 6か月を超え1年以下 | 1年を超え3年以下 | 3年を超える | 期間の定めはない | |
| 総数 | 100.0 | 0.1 | 0.1 | 1.0 | 7.2 | 17.6 | 9.3 | 9.2 | 11.3 | 5.0 | 38.4 | 0.8 |
| 男 | 100.0 | 0.1 | 0.2 | 1.5 | 6.2 | 14.5 | 10.0 | 7.7 | 11.5 | 4.6 | 42.8 | 0.9 |
| 女 | 100.0 | 0.1 | 0.1 | 0.6 | 7.9 | 20.1 | 8.7 | 10.4 | 11.1 | 5.3 | 34.8 | 0.8 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 0.1 | 0.3 | 1.4 | 9.4 | 21.7 | 11.4 | 12.9 | 16.8 | 5.9 | 19.4 | 0.7 |
| 登録型以外 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 5.1 | 13.8 | 7.3 | 5.7 | 6.0 | 4.1 | 56.4 | 1.0 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 0.1 | 0.2 | 1.3 | 7.0 | 24.2 | 15.4 | 12.4 | 12.8 | 3.7 | 20.9 | 2.0 |

(4) 派遣先で予定される派遣期間

派遣労働者について、派遣先で予定される派遣期間（派遣元から明示されている「労働者派遣の期間」）をみると、「2か月を超え3か月以下」が31.0%と最も高く、次いで「3か月を超え6か月以下」17.5%、「6か月を超え1年以下」11.9%となっている。

これを派遣の種類別にみると、いずれも「2か月を超え3か月以下」が最も高く、登録型は24.1%、登録型以外は37.6%となっている。（表23）

表23 性・派遣の種類、派遣先で予定される派遣期間別派遣労働者割合

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣先で予定される派遣期間 | | | | | | | | | | |
|----------|--------|---------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|--------|----------|-----|
| | | 1日以内 | 2日以上1週間以下 | 1週間を超え30日以下 | 30日を超え2か月以下 | 2か月を超え3か月以下 | 3か月を超え6か月以下 | 6か月を超え1年以下 | 1年を超え3年以下 | 3年を超える | 期間の定めはない | 不明 |
| 総数 | 100.0 | 0.1 | 0.1 | 1.1 | 7.1 | 31.0 | 17.5 | 11.9 | 11.8 | 8.3 | 10.1 | 0.9 |
| 男 | 100.0 | 0.1 | 0.2 | 1.9 | 6.4 | 21.0 | 26.0 | 14.3 | 9.6 | 8.6 | 10.9 | 1.0 |
| 女 | 100.0 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 7.7 | 39.1 | 10.6 | 10.0 | 13.5 | 8.1 | 9.5 | 0.9 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 0.2 | 0.2 | 1.6 | 10.6 | 24.1 | 13.1 | 13.0 | 17.8 | 9.2 | 9.2 | 1.1 |
| 登録型以外 | 100.0 | 0.0 | - | 0.7 | 3.8 | 37.6 | 21.7 | 10.8 | 6.0 | 7.6 | 11.0 | 0.8 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 0.0 | 0.2 | 1.2 | 8.6 | 27.3 | 18.1 | 16.4 | 13.8 | 2.8 | 9.8 | 1.9 |

(5) 賃金

ア 時間給

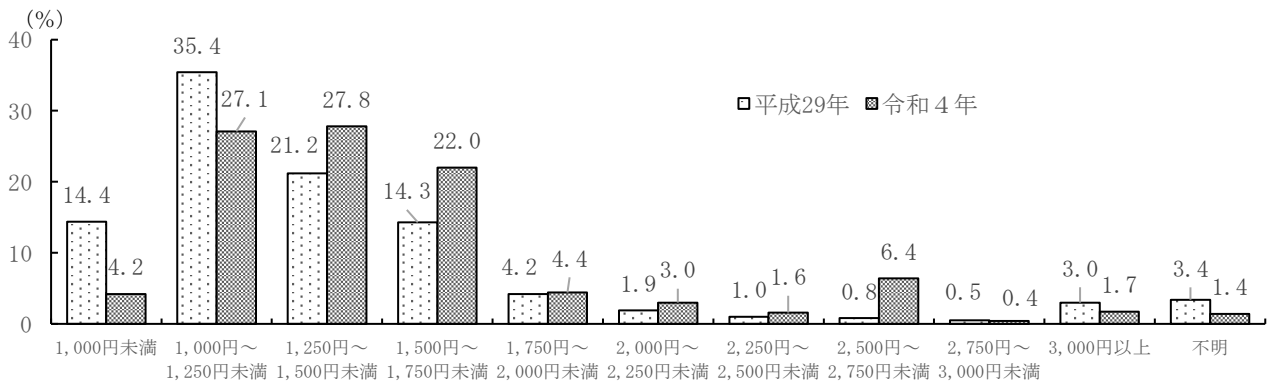
派遣労働者について、現在就業中の賃金（基本給、税込みの時間給換算額をいう。以下同じ。）をみると、「1,250円～1,500円未満」が27.8%と最も高く、次いで「1,000円～1,250円未満」27.1%となっている。

「平均賃金」は1,510円となっており、これを性別にみると、男は1,648円、女は1,400円となっている。また、派遣の種類別にみると、登録型は1,364円、登録型以外は1,650円となっている。（表24、図4）

表24 性・派遣の種類、賃金（時間給換算額）階級別派遣労働者割合及び平均賃金

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 賃金（時間給換算額）階級 | | | | | | | | | | | 平均賃金（円） |
|----------|--------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|-----|---------|
| | | 1,000円未満 | 1,000円～1,250円未満 | 1,250円～1,500円未満 | 1,500円～1,750円未満 | 1,750円～2,000円未満 | 2,000円～2,250円未満 | 2,250円～2,500円未満 | 2,500円～2,750円未満 | 2,750円～3,000円未満 | 3,000円以上 | 不明 | |
| 総数 | 100.0 | 4.2 | 27.1 | 27.8 | 22.0 | 4.4 | 3.0 | 1.6 | 6.4 | 0.4 | 1.7 | 1.4 | 1,510 |
| 男 | 100.0 | 5.9 | 24.6 | 26.2 | 11.7 | 5.3 | 4.1 | 2.7 | 13.4 | 0.7 | 3.5 | 1.8 | 1,648 |
| 女 | 100.0 | 2.9 | 29.1 | 29.0 | 30.4 | 3.7 | 2.1 | 0.6 | 0.7 | 0.2 | 0.3 | 1.0 | 1,400 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 5.9 | 34.6 | 32.4 | 16.9 | 4.8 | 1.9 | 0.8 | 0.8 | 0.4 | 0.7 | 0.9 | 1,364 |
| 登録型以外 | 100.0 | 2.6 | 19.9 | 23.4 | 26.9 | 4.0 | 4.1 | 2.3 | 11.6 | 0.5 | 2.8 | 1.8 | 1,650 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 14.4 | 35.4 | 21.2 | 14.3 | 4.2 | 1.9 | 1.0 | 0.8 | 0.5 | 3.0 | 3.4 | 1,366 |

図4 賃金（時間給換算額）階級別派遣労働者割合及び平均賃金（派遣労働者計=100%）



イ 時間給への評価

派遣労働者について、賃金に対する評価をみると、「満足している」41.1%、「満足していない」38.0%、「どちらとも言えない」19.6%となっている。

「満足していない」派遣労働者について、満足していない理由をみると、「派遣先で同一の業務を行う他の派遣労働者より賃金が低いから」が24.6%と最も高くなっている。（表25）

表25 性・賃金（時間給換算額）階級・派遣の種類、賃金に対する評価、賃金に満足していない理由別派遣労働者割合

| 性・賃金（時間給換算額） 階級・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 満足している | 満足していない 3) | 賃金に満足していない理由 | | | | | | どちらとも言えない | 不明 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|------------------------------------|------------------------------|-------------------------|-----------------|--------|------|-----------|----|
| | | | | 派遣先で同一の業務を行う直接雇用されている労働者よりも賃金が低いから | 派遣先で同一の業務を行う他の派遣労働者より賃金が低いから | 自分の能力や職務内容に見合った賃金ではないから | 業務量に見合った賃金でないから | その他 | | | |
| 総数 2) | 100.0 | 41.1 | 38.0 (100.0) | (18.4) | (24.6) | (13.1) | (21.4) | (16.0) | 19.6 | 1.3 | |
| 男 | 100.0 | 30.4 | 48.2 (100.0) | (19.3) | (33.3) | (11.8) | (18.2) | (11.5) | 20.0 | 1.4 | |
| 女 | 100.0 | 49.9 | 29.7 (100.0) | (17.2) | (13.1) | (14.8) | (25.6) | (21.8) | 19.3 | 1.2 | |
| 賃金(時間給換算額)階級 | | | | | | | | | | | |
| 1,000円未満 | 100.0 | 24.7 | 53.8 (100.0) | (57.2) | (5.9) | (7.1) | (13.9) | (7.9) | 20.2 | 1.3 | |
| 1,000～1,250円未満 | 100.0 | 37.0 | 41.9 (100.0) | (15.5) | (17.2) | (9.3) | (32.8) | (18.5) | 20.0 | 1.0 | |
| 1,250～1,500円未満 | 100.0 | 39.0 | 35.7 (100.0) | (13.8) | (11.4) | (20.0) | (23.5) | (22.4) | 24.3 | 1.0 | |
| 1,500～1,750円未満 | 100.0 | 62.1 | 23.4 (100.0) | (26.8) | (9.8) | (20.4) | (17.8) | (18.4) | 14.0 | 0.5 | |
| 1,750～2,000円未満 | 100.0 | 45.1 | 30.8 (100.0) | (31.6) | (1.9) | (14.3) | (30.6) | (9.8) | 23.0 | 1.1 | |
| 2,000～2,250円未満 | 100.0 | 36.5 | 17.6 (100.0) | (30.6) | (10.6) | (27.2) | (10.0) | (14.1) | 45.3 | 0.6 | |
| 2,250～2,500円未満 | 100.0 | 48.1 | 35.9 (100.0) | (24.8) | (36.6) | (14.0) | (1.0) | (19.4) | 12.0 | 3.9 | |
| 2,500～3,000円未満 | 100.0 | 9.4 | 84.6 (100.0) | (3.6) | (90.3) | (2.3) | (2.8) | (0.9) | 5.9 | 0.1 | |
| 3,000円以上 | 100.0 | 43.8 | 35.7 (100.0) | (21.6) | (9.0) | (24.0) | (13.2) | (31.8) | 20.3 | 0.1 | |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 38.0 | 38.1 (100.0) | (19.4) | (13.5) | (13.1) | (28.0) | (18.0) | 22.9 | 1.0 | |
| 登録型以外 | 100.0 | 44.2 | 37.9 (100.0) | (17.4) | (35.1) | (13.2) | (15.2) | (14.0) | 16.5 | 1.5 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 34.2 | 39.1 (100.0) | (26.9) | (10.6) | (21.6) | (23.9) | (16.1) | 24.2 | 2.5 | |

注：1) () は、賃金（時間給換算額）に満足していない派遣労働者を100とした割合である。

2) 「総数」には、「賃金（時間給換算額）」不明が含まれる。

3) 「満足していない」には、「賃金に満足していない理由」不明が含まれる。

(6) 諸手当等、各種制度の支給・実施状況

派遣労働者について、諸手当等、各種制度の支給・実施の状況をみると、通勤手当の「支給がある」は84.4%、賞与・一時金の「支給がある」は31.9%、昇給が「実施されている」は28.2%となっている。(表26)

表26 諸手当・制度の種類、性・事業所規模、派遣先事業所の受け入れ派遣労働者の支給・実施の有無別派遣労働者割合

| (単位：%) | | | | |
|--------------------|--------|--------------|--------------|-------------|
| 各種制度・ 性・事業所規模 | 派遣労働者計 | 支給・実施が ある | 支給・実施が ない | 支給・実施 不明 |
| 通 勤 手 当 | | | | |
| 総 数 | 100.0 | 84.4 | 14.8 | 0.8 |
| 男 | 100.0 | 81.4 | 17.7 | 0.9 |
| 女 | 100.0 | 86.9 | 12.4 | 0.7 |
| 事 業 所 規 模 | | | | |
| 1,000人以上 | 100.0 | 81.7 | 18.1 | 0.3 |
| 300～999人 | 100.0 | 84.7 | 14.4 | 0.8 |
| 100～299人 | 100.0 | 79.9 | 19.0 | 1.1 |
| 30～99人 | 100.0 | 79.4 | 19.8 | 0.8 |
| 5～29人 | 100.0 | 91.4 | 7.9 | 0.7 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 51.0 | 45.4 | 3.7 |
| 賞 与 ・ 一 時 金 | | | | |
| 総 数 | 100.0 | 31.9 | 67.3 | 0.8 |
| 男 | 100.0 | 32.8 | 66.3 | 0.9 |
| 女 | 100.0 | 31.3 | 68.0 | 0.7 |
| 事 業 所 規 模 | | | | |
| 1,000人以上 | 100.0 | 39.9 | 59.8 | 0.3 |
| 300～999人 | 100.0 | 31.6 | 67.5 | 0.8 |
| 100～299人 | 100.0 | 25.0 | 74.0 | 1.1 |
| 30～99人 | 100.0 | 17.3 | 81.9 | 0.8 |
| 5～29人 | 100.0 | 43.7 | 55.6 | 0.7 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 19.6 | 76.7 | 3.7 |
| 昇 給 | | | | |
| 総 数 | 100.0 | 28.2 | 71.0 | 0.8 |
| 男 | 100.0 | 38.2 | 60.9 | 0.9 |
| 女 | 100.0 | 20.1 | 79.2 | 0.7 |
| 事 業 所 規 模 | | | | |
| 1,000人以上 | 100.0 | 30.0 | 69.7 | 0.3 |
| 300～999人 | 100.0 | 25.0 | 74.2 | 0.8 |
| 100～299人 | 100.0 | 23.1 | 75.9 | 1.1 |
| 30～99人 | 100.0 | 18.2 | 81.0 | 0.8 |
| 5～29人 | 100.0 | 39.1 | 60.2 | 0.7 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 15.2 | 81.2 | 3.7 |

(7) 教育訓練の実施状況

派遣労働者について、教育訓練の実施状況をみると、過去1年間に「教育訓練を受けたことがある」は65.5%となっている。受けた教育訓練の内容（複数回答）をみると、「派遣先で受けた教育訓練」37.4%、「派遣元又は派遣先で受けたeラーニング」35.0%、「派遣元で受けた教育訓練」31.2%、「派遣元又は派遣先で受けた社外（業界団体や学校、民間の教育訓練機関等）でのOFF-JT（eラーニングを除く）」5.7%となっている。

「派遣元で受けた教育訓練」では「入職時訓練」の割合が高くなっており、「派遣先で受けた教育訓練」では「OJT」の割合が高くなってきている。（表27）

表27 性・派遣の種類、過去1年間の教育訓練の受講の有無、教育訓練の内容別派遣労働者割合

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 1) | 教育訓練を受けたことがある | 教育訓練の内容（複数回答） | | | | | | | | | 教育訓練を受けたことがない | 不明 |
|----------|--------------|---------------|---------------|-------------|-----------------|------|------------------------------|--------------------|------|-----------------|------|---------------|-----|
| | | | 派遣元で受けた教育訓練 | 派遣先で受けた教育訓練 | | | 派遣元又は派遣先で受けた社外でのOFF-JT（②を除く） | 派遣元又は派遣先で受けたeラーニング | 不明 | | | | |
| | | | | 入職時訓練 | OFF-JT（①及び②を除く） | OJT | | | | OFF-JT（①及び②を除く） | OJT | | |
| 総数 | 100.0 | 65.5 | 31.2 | 22.6 | 16.6 | 13.5 | 37.4 | 20.7 | 29.2 | 5.7 | 35.0 | 33.0 | 1.5 |
| 男 | 100.0 | 67.3 | 45.2 | 34.4 | 27.6 | 24.4 | 47.7 | 27.1 | 40.9 | 4.3 | 28.2 | 31.2 | 1.5 |
| 女 | 100.0 | 64.0 | 19.8 | 13.0 | 7.8 | 4.7 | 29.0 | 15.5 | 19.8 | 6.8 | 40.6 | 34.5 | 1.5 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 54.7 | 28.0 | 18.4 | 11.8 | 6.2 | 30.8 | 13.7 | 25.4 | 2.7 | 29.1 | 43.5 | 1.8 |
| 登録型以外 | 100.0 | 75.7 | 34.2 | 26.5 | 21.2 | 20.4 | 43.6 | 27.3 | 32.8 | 8.5 | 40.6 | 23.1 | 1.2 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 50.6 | 29.7 | 21.0 | 11.5 | 8.3 | 28.2 | 13.3 | 21.6 | 3.5 | 21.6 | 45.2 | 4.2 |

注：1)「派遣労働者計」には、「教育訓練の内容」不明が含まれる。

(8) 派遣元でキャリアコンサルティングを受けるための相談窓口の状況

派遣労働者について、派遣元のキャリアコンサルティングを受けるための相談窓口の状況をみると、「相談窓口が置かれている」46.4%、「相談窓口が置かれていない」7.5%、「わからない」43.9%となっている。

「相談窓口が置かれている」派遣労働者について、その相談窓口（複数回答）をみると、「キャリアコンサルタント（社内）」が60.1%と最も高く、次いで、「営業担当者」53.9%となっている。（表28）

表28 性・派遣の種類、キャリアコンサルティングを受けるための相談窓口の状況別派遣労働者割合

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 2) | 相談窓口が置かれている | 相談窓口（複数回答） | | | | | 相談窓口が置かれていない | わからない | |
|----------|--------------|-------------|-----------------|-----------------|-------|----------|--------|--------------|-------|------|
| | | | キャリアコンサルタント（社内） | キャリアコンサルタント（社外） | 営業担当者 | コーディネーター | その他 | | | |
| 総数 | 100.0 | 46.4 | (100.0) | (60.1) | (3.3) | (53.9) | (26.2) | (6.6) | 7.5 | 43.9 |
| 男 | 100.0 | 41.7 | (100.0) | (52.9) | (3.9) | (75.9) | (38.8) | (11.7) | 9.4 | 46.0 |
| 女 | 100.0 | 50.3 | (100.0) | (64.9) | (3.0) | (39.1) | (17.7) | (3.2) | 5.9 | 42.2 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 34.6 | (100.0) | (38.0) | (4.5) | (68.6) | (27.7) | (5.5) | 5.7 | 56.4 |
| 登録型以外 | 100.0 | 57.6 | (100.0) | (72.7) | (2.7) | (45.5) | (25.3) | (7.2) | 9.1 | 32.0 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 34.8 | (100.0) | (37.0) | (8.0) | (67.0) | (22.1) | (9.7) | 13.1 | 49.1 |

注：1) () は「相談窓口が置かれている」と回答した派遣労働者を100とした割合である。

：2)「派遣労働者計」には、相談窓口の設置不明が含まれる。

4 派遣元・派遣先への要望

(1) 派遣元への要望

派遣労働者について、派遣元への要望の有無をみると、「要望がある」は47.8%となっている。

「要望がある」派遣労働者について、要望の内容（複数回答3つまで）をみると、「賃金制度を改善してほしい」が58.6%と最も高く、次いで「継続した仕事を確保してほしい」29.7%、「派遣先に対して、派遣先での直接雇用により切り替えるよう依頼してほしい」21.6%となっている。（表29）

表29 性・派遣の種類、派遣元への要望の有無、要望の内容別派遣労働者割合

(単位：%)

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣元への要望の有無 | | | | | | | | | | | | | | | 要望がない | 不明 |
|----------|--------|-------------|-------------------------------|--|---|--|--|--|--|---|---|--|---|---|--|---|-------|----|
| | | 要望がある 2) | 派遣元への要望の内容（複数回答3つまで） | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | て継続 した 仕事を 確保し たい | 賃 金 制 度 を 改 善 し て ほ し い | 年 次 有 給 休 暇 を 取 り や す く し て ほ し い | 労 働 し て ほ し い ・ 社 会 保 険 に 加 入 し て ほ し い | 充 実 し て ほ し い ・ 健 康 管 理 を 充 実 し て ほ し い | 安 全 管 理 を 充 実 し て ほ し い | 福 利 厚 生 制 度 を 充 実 し て ほ し い | し 教 育 訓 練 を 充 実 し て ほ し い | 応 答 し て ほ し い ・ 要 望 に 迅 速 に 対 応 し て ほ し い | に 説 明 し て ほ し い ・ 要 望 に 迅 速 に 対 応 し て ほ し い | を 求 め な い ・ 他 の 派 遣 先 等 に 対 し て ほ し い | の 確 保 を し て ほ し い ・ 他 の 派 遣 先 等 に 対 し て ほ し い | し 先 で の 直 接 雇 用 に て 切 り 替 え る よ う 依 頼 し て ほ し い | 派 遣 先 に 対 し て 、 派 遣 先 で の 直 接 雇 用 に て 切 り 替 え る よ う 依 頼 し て ほ し い | | |
| 総数 | 100.0 | 47.8 | (100.0) | (29.7) | (58.6) | (10.2) | (0.4) | (3.6) | (17.0) | (7.9) | (13.0) | (0.8) | (16.1) | (21.6) | (8.4) | 51.7 | 0.5 | |
| 男 | 100.0 | 47.4 | (100.0) | (28.7) | (61.9) | (12.9) | (0.5) | (4.3) | (12.5) | (10.0) | (14.1) | (0.9) | (13.3) | (15.1) | (9.0) | 52.1 | 0.6 | |
| 女 | 100.0 | 48.2 | (100.0) | (30.5) | (55.9) | (8.1) | (0.3) | (3.0) | (20.7) | (6.2) | (12.0) | (0.7) | (18.3) | (26.8) | (7.9) | 51.4 | 0.4 | |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 59.3 | (100.0) | (34.3) | (55.3) | (11.0) | (0.2) | (3.6) | (17.0) | (5.5) | (13.2) | (0.5) | (18.9) | (24.3) | (7.9) | 40.3 | 0.5 | |
| 登録型以外 | 100.0 | 37.0 | (100.0) | (22.8) | (63.5) | (9.0) | (0.7) | (3.6) | (17.1) | (11.5) | (12.5) | (1.3) | (11.8) | (17.5) | (9.2) | 62.5 | 0.5 | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 51.7 | (100.0) | (31.6) | (55.8) | (16.9) | (2.8) | (5.1) | (14.3) | (11.3) | (10.2) | (0.7) | (20.5) | (23.1) | (10.5) | 46.0 | 2.3 | |

注：1) () は派遣元への要望があると回答した派遣労働者を100とした割合である。

2) 「要望がある」には、派遣元への要望の内容不明が含まれる。

(2) 派遣先への要望

派遣労働者について、派遣先への要望の有無をみると、「要望がある」は38.4%となっている。これを性別にみると、男は33.4%、女は42.4%と女のほうが高くなっている。

「要望がある」派遣労働者について、要望の内容（複数回答3つまで）をみると、「派遣契約期間を長くしてほしい」が25.6%と最も高く、次いで「指揮命令系統を明確にしてほしい」17.8%となっている。（表30）

表30 性・派遣の種類、派遣先への要望の有無、要望の内容別派遣労働者割合

(単位：%)

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣先への要望の有無 | | | | | | | | | | | | | | | 要望がない | 不明 |
|----------|--------|-------------|---|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|--|--|-------------|-------|-----|
| | | 要望がある 2) | 派遣先への要望の内容（複数回答3つまで） | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | い 派 遣 契 約 期 間 を 長 く し て ほ し い | て 指 揮 命 令 系 統 を 明 確 に し て ほ し い | ほ し い ・ 派 遣 契 約 期 間 を 長 く し て ほ し い | け 派 遣 契 約 の 中 途 解 除 を 避 け て ほ し い | て 適 切 な 労 働 時 間 管 理 を し て ほ し い | く 年 次 有 給 休 暇 を 取 り や す く し て ほ し い | 持 つ て 対 応 し て ほ し い ・ 責 任 を 持 つ て 対 応 し て ほ し い | 職 場 の 防 止 に 対 し て ほ し い ・ セ ク ス ハ ラ に 対 し て ほ し い | 迅 速 に 対 応 し て ほ し い ・ 要 望 に 迅 速 に 対 応 し て ほ し い | て 個 人 情 報 の 保 護 に 配 慮 し て ほ し い | 等 職 場 環 境 （ 安 全 ・ 衛 生 ） を 良 く し て ほ し い | 求 め な い ・ 他 の 派 遣 先 等 に 対 し て ほ し い | て 福 利 厚 生 施 設 を 利 用 さ せ て ほ し い | そ の 他 | | |
| 総数 | 100.0 | 38.4 | (100.0) | (13.0) | (17.8) | (25.6) | (15.3) | (10.8) | (12.6) | (12.0) | (13.8) | (2.9) | (15.0) | (1.4) | (8.4) | (22.6) | 60.0 | 1.6 |
| 男 | 100.0 | 33.4 | (100.0) | (12.8) | (22.6) | (27.0) | (17.4) | (17.3) | (15.9) | (14.6) | (16.4) | (1.8) | (18.8) | (1.6) | (6.4) | (16.4) | 64.8 | 1.8 |
| 女 | 100.0 | 42.4 | (100.0) | (13.1) | (14.8) | (24.6) | (14.0) | (6.6) | (10.5) | (10.4) | (12.2) | (3.6) | (12.7) | (1.2) | (9.7) | (26.6) | 56.2 | 1.4 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 45.3 | (100.0) | (13.6) | (16.4) | (32.1) | (19.1) | (8.8) | (12.3) | (13.0) | (17.3) | (3.6) | (16.4) | (1.2) | (8.0) | (16.0) | 52.6 | 2.1 |
| 登録型以外 | 100.0 | 31.8 | (100.0) | (12.0) | (19.7) | (16.8) | (10.2) | (13.4) | (13.0) | (10.8) | (9.2) | (2.0) | (13.2) | (1.6) | (8.9) | (31.6) | 67.1 | 1.1 |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 38.3 | (100.0) | (14.1) | (22.9) | (30.0) | (13.1) | (13.3) | (21.8) | (14.5) | (13.2) | (4.3) | (16.6) | (1.2) | (3.3) | (17.4) | 59.3 | 2.4 |

注：1) () は派遣先への要望があると回答した派遣労働者を100とした割合である。

2) 「要望がある」には、派遣先への要望の内容不明が含まれる。

5 今後の働き方の希望

派遣労働者について、今後の働き方に対する希望についてみると、「派遣労働者以外の就業形態で働きたい」37.0%、「派遣労働者として働きたい」34.2%となっている。

「派遣労働者以外の就業形態で働きたい」派遣労働者について就業形態をみると、「正社員として働きたい」が74.3%、「パート等の正社員以外の就業形態で働きたい」が15.9%、となっている。（表31）

表31 性・派遣の種類、今後の働き方の希望別派遣労働者割合

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣労働者として働きたい | 派遣労働者以外の就業形態で働きたい 1) | 今後の働き方の希望 | | | | その他 | 不明 | | |
|----------|--------|--------------|-------------------------|------------|----------------|---------------------|---------------------|------|-----|-----|--|
| | | | | 正社員として働きたい | パート等の就業形態で働きたい | 期間の定めのない労働契約により働きたい | 期間の定めのある労働契約により働きたい | | | | |
| | | | | | | | | | | （ ） | |
| | | | | | | | | | | （ ） | |
| 総数 | 100.0 | 34.2 | 37.0 (100.0) | (74.3) | (15.9) | (13.9) | (2.0) | 28.0 | 0.8 | | |
| 男 | 100.0 | 37.9 | 36.6 (100.0) | (82.0) | (11.2) | (7.8) | (3.4) | 24.7 | 0.9 | | |
| 女 | 100.0 | 31.2 | 37.3 (100.0) | (68.1) | (19.6) | (18.7) | (0.9) | 30.8 | 0.8 | | |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 36.1 | 44.7 (100.0) | (68.9) | (21.4) | (18.6) | (2.8) | 18.3 | 1.0 | | |
| 登録型以外 | 100.0 | 32.4 | 29.7 (100.0) | (82.0) | (8.0) | (7.2) | (0.8) | 37.3 | 0.7 | | |
| 平成29年調査計 | 100.0 | 26.7 | 49.1 (100.0) | (80.9) | (11.0) | (9.7) | (1.3) | 22.8 | 1.4 | | |

注：1) 「派遣労働者以外の就業形態で働きたい」には、「今後の働き方の希望」について「その他」及び不明が含まれる。

2) () は「派遣労働者以外の就業形態で働きたい」を100とした割合である。

6 個人単位の期間制限到達の有無とその後の状況及び個人単位の期間制限についての意見

【新規調査項目】

(1) 個人単位の期間制限到達の有無とその後の状況

派遣労働者について、過去1年間の同一の組織単位における派遣就業期間3年の到達状況を見ると、「到達したことがあった」は23.5%、「到達したことはなかった」は61.4%となっている。

「到達したことがあった」派遣労働者について異動の状況を見ると、「異動はなかった」が80.0%、「派遣先の事業所の中で、別の組織単位に異動した」が9.2%となっている。（表32）

表32 性・派遣の種類、派遣就業期間が3年（個人単位の期間制限の上限）に到達の有無、就業場所の異動の有無別派遣労働者割合

| 性・派遣業務 | 派遣労働者計 | 令和3年10月～令和4年9月の同一組織単位での派遣就業期間が3年に到達の有無 | | | | | | | | 不明 |
|--------|--------|--|------------------------|------------|--------|--------|---------|-------------|-------|-----|
| | | 到達したことがあった | 異動があった | | | | | 到達したことはなかった | わからない | |
| | | | 派遣先の事業所の中で、別の組織単位に異動した | 別の派遣先に異動した | 離職した | その他 | 異動はなかった | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 総数 | 100.0 | 23.5 (100.0) | (9.2) | (5.5) | (3.4) | (1.4) | (80.0) | 61.4 | 13.4 | 1.7 |
| 男 | 100.0 | 20.7 (100.0) | (10.3) | (5.2) | (1.4) | (1.2) | (81.2) | 59.1 | 18.6 | 1.6 |
| 女 | 100.0 | 25.7 (100.0) | (8.5) | (5.6) | (4.7) | (1.5) | (79.2) | 63.3 | 9.2 | 1.8 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 24.2 (100.0) | (11.4) | (9.0) | (6.2) | (1.9) | (70.5) | 61.4 | 13.4 | 1.7 |
| 登録型以外 | 100.0 | 22.7 (100.0) | (6.9) | (1.9) | (0.6) | (0.9) | (89.6) | 60.2 | 13.6 | 2.0 |

注：() は「到達したことがあった」割合を100とした割合であり、異動の有無の不明が含まれる。

(2) 個人単位の期間制限についての意見

派遣労働者について、個人単位の期間制限についての意見をみると、「制限は不要」が31.9%と最も高く、次いで「今のままでよい」26.0%、「わからない」25.9%となっている。

これを派遣の種類別にみると、登録型は「制限は不要」が36.7%、登録型以外は「今のままでよい」が36.5%とそれぞれ最も高くなっている。(表33)

表33 性、派遣の種類、派遣労働者の個人単位の期間制限に対する意見別派遣労働者割合

(単位：%)

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣労働者の個人単位の期間制限についての意見 | | | | | |
|---------|--------|------------------------|-------------------|---------|-------|-------|-----|
| | | 制限は必要だが、3年より短縮すべき | 制限は必要だが、3年より延長すべき | 今のままでよい | 制限は不要 | わからない | 不明 |
| 総数 | 100.0 | 4.6 | 7.8 | 26.0 | 31.9 | 25.9 | 3.7 |
| 男 | 100.0 | 4.7 | 7.9 | 26.0 | 27.5 | 30.3 | 3.6 |
| 女 | 100.0 | 4.6 | 7.8 | 26.1 | 35.4 | 22.4 | 3.8 |
| 派遣の種類 | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 6.2 | 11.1 | 15.0 | 36.7 | 26.5 | 4.4 |
| 登録型以外 | 100.0 | 3.1 | 4.7 | 36.5 | 27.3 | 25.4 | 3.0 |

7 派遣労働者として働いている理由 【新規調査項目】

派遣労働者について、派遣労働者として働いている理由(複数回答)をみると、「自分の都合のよい時間に働きたいから」が30.8%、「正規の職員・従業員の仕事がないから」30.4%の割合が高くなっている。

これを性別にみると上位2つは女は全体と同様となっているが、男は「正規の職員・従業員の仕事がないから」31.0%、「専門的な技能等をいかせるから」23.3%となっている。(表34)

表34 性、派遣の種類、派遣労働者として働いている理由別派遣労働者割合

(単位：%)

| 性・派遣の種類 | 派遣労働者計 | 派遣労働者として働いている理由(複数回答) | | | | | | 不明 |
|---------|--------|-----------------------|-----------------|--------------------|----------------|-------------------|------|-----|
| | | 自分の都合のよい時間に働きたいから | 家計の補助・学費等を得たいから | 家事・育児・介護等と両立しやすいから | 専門的な技能等をいかせるから | 正規の職員・従業員の仕事がないから | その他 | |
| 総数 | 100.0 | 30.8 | 18.6 | 11.7 | 13.8 | 30.4 | 40.6 | 0.8 |
| 男 | 100.0 | 23.0 | 8.0 | 3.9 | 23.3 | 31.0 | 38.4 | 0.8 |
| 女 | 100.0 | 37.1 | 27.2 | 18.0 | 6.2 | 29.8 | 42.4 | 0.8 |
| 派遣の種類 | | | | | | | | |
| 登録型 | 100.0 | 40.7 | 24.3 | 18.0 | 8.9 | 40.1 | 26.5 | 0.9 |
| 登録型以外 | 100.0 | 21.4 | 13.3 | 5.8 | 18.5 | 21.2 | 53.9 | 0.7 |